

ALPINE®

MDA-W779JB/MDA-W700JB/MDA-W700J

MD/CD/DSP ヘッドユニット

取扱説明書

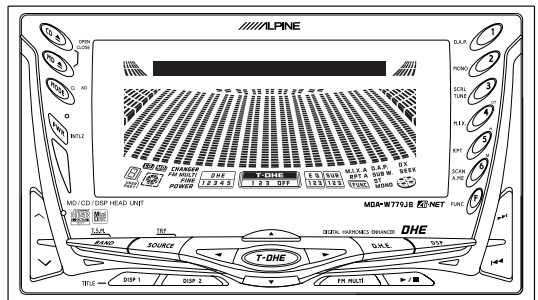
MD (ミニディスク) を聴く 10/11
MDの基本操作はここ！

CD を聴く 12/13
CDの基本操作はここ！

DHE モードを選ぶ 25
デジタルリアルサウンドを楽しもう

イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ 28
7バンド・イコライザーでお好みの音創りを楽しもう

タイトル/テキストを表示する 35
文字の表示や入力方法を説明します



MDA-W779JB

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用前に、この説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。説明書
の指示を守らなかったことによる不具合
に対して、当社は責任を負いかねます。

この説明書は、製品を安全に正しくお使
いいただき、あなたや他の人々への危害
や財産への損害を未然に防止するために、
いろいろな絵表示をしています。その表
示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みく
ださい。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電
の原因になります。



禁止

小物類は幼児の手の届かないところ に保管する

小物類<電池・ネジなど>は幼児
の手の届かないところに保管して
ください。飲み込んだ場合は、た
だちに医師と相談してください。



ヒューズの交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量
(アンペア数)を守ってください。
規定容量以上を使用すると、火災
の原因となります。



禁止



強制

異常な状態になったら、直ちに使う のをやめる

音や画面が出ない・異物が入っ
た・煙が出る・変な臭いがするな
ど異常が起きましたら、直ちに
使用を中止し、必ず<お買い上げ
の販売店>にご相談ください。そ
のままご使用になると事故・火
災・感電の原因となります。



禁止



強制

運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表
示を見たりしないでください。走
行中に操作をすると前方不注意と
なり事故の原因となります。必ず
安全な場所に車を停車させてく
ださい。



禁止

安全にお使いいただくために、必ずお守りください



安全にお使いいただくために

⚠️ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

音量を上げすぎない

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



車以外に使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



禁止

新旧の電池を混ぜない

極性を間違えないように挿入する
新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定していない電池を使用しないでください。また、挿入する際は極性 < + ・ - > に注意し指示通りに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。



挿入口やすき間には異物を入れない

ディスクの挿入口や可動ディスプレイのすき間に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。



禁止

運転の妨げになる操作は停車させてから行う

可動ディスプレイの開閉やディスクの出し入れ操作が運転（シフトレバー操作など）の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。





安全にお使いいただくために、必ずお守りください

取り扱い上のご注意 (共通)

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない
雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

取り扱い上のご注意 (MD)

ミニディスク(MD)の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。
シャッターを開けない/内部にさわらない/直射日光下に置かない/ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る/ホコリやごみが付いたら拭きとる/バリが無いことを確認する。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがあります。が、プレーヤーには影響ありません。



取り扱い上のご注意 (CD)

本機で使用できるディスクについて

下記ディスクマークのついているコンパクト・ディスクをお勧めします。

本機は、CD-R (CD-Recordable) の再生を 100%保証するものではありません。

また、CD-RW (CD-ReWritable) の再生はできません。



コンパクト・ディスク (CD) の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルを貼ったり文字を書いたりしない / ホコリやごみが付いたら拭きとる / バリが無いことを確認する / 市販のアクセサリーを使わない。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクト・ディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

目次



安全にお使いいただくために

警告/注意	2
目次	6



ここだけ読めば使えます

リセットする	8
電源の ON/OFF	8
ディスプレイの角度調整	9
ディスプレイの開閉	9
MD (ミニディスク) を聴く	10
CD を聴く	12
ラジオを聴く	14
チェンジャーで CD (MD) を聴く ...	16

MD / CD / チェンジャー操作

曲のイントロだけを聴く (SCAN)	18
曲順を変えて聴く (M.I.X.)	19
繰り返し聴く (REPEAT)	19

MD/CD は、同じ操作で行えますので、まとめて「MD/CD/チェンジャー操作」で説明しています。



ラジオ操作

放送局を記憶する	20
自動的に放送局を記憶する (AUTO MEMORY)	21
記憶した放送局を受信する	21
D.A.P.を利用する	22
道路交通情報を受信する (TRF)	23

サウンド調整

音量/バランス/フェダーの調整	24
DHE モードを選ぶ	25
シアター DHE を選ぶ	26
シアター DHE のボーカル位置調整	27
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ ...	28
イコライザー・カーブを作る	29
サラウンド・モード (メーカー設定) を選ぶ	30
サラウンド・レベル/タイムの調整	31
リスニング・ポジションの合わせかた (L.P.S.)	32
DSP 条件の記憶	33
記憶した DSP 条件の呼び出し	33

目次

タイトル/テキスト操作

タイトル/テキスト/スクロールとは	34
タイトル/テキストを表示する	35
スクロールの設定	35
タイトルをつける	36
記憶したタイトルから CD を選ぶ (CD チェンジャーのみ)	39
記憶したタイトルを消す (CD チェンジャーのみ)	40

FM 多重操作

(MDA-W779JB のみ)

FM 文字多重放送について	41
FM 多重モードを選ぶ	42
番組メニューを選ぶ	43
ページの切りかえ	44
文字情報を見ながらディスク演奏を聴く	45
放送局名を表示する	45
FM 多重スクロールの設定	46
文字情報の記憶	47
記憶した情報を呼び出す	47

便利な機能

グラフィックスクリーンを切りかえる	48
操作音の切りかえ	49
時刻を設定する	50
時刻を表示する	51
拡張ユニット操作	
サブウーハーを接続する	52
外部割り込みモードの設定	53
TV (Ai-NET 対応) を操作する	54

リモコン操作

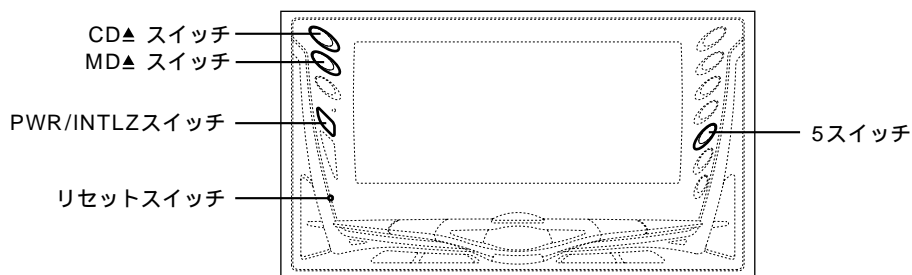
使用時のご注意 / 電池を入れる	56
基本 / MD/CD/チェンジャー / ラジオ操作	57
DSP 操作	58
FM 多重操作 (MDA-W779JB のみ)	58

その他

故障かな? と思ったら	59
規格	61
保証について	62
お問い合わせ窓口	63
Q & A	65



リセットする 電源の ON/OFF



リセットする

初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 リセットスイッチをペン先などで押す。



リセットすると、時刻や記憶した内容が消去されます。
もう一度、登録し直してください。

電源の ON/OFF

- 1 「PWR」を押す。
電源が入る。



- 2 電源を切るときは、再度「PWR」を押す。



電源は「CD ▲」「MD ▲」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、CD/MDを挿入すれば電源が入ります。



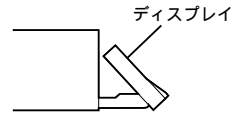
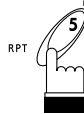
ディスプレイの角度調整

ディスプレイを見やすい角度に調整することができます。

- 1 「INTLZ」を3秒以上押す。



- 2 「5」を押して角度を調整する。
角度は押すごとに切りかわる。



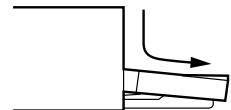
- 3 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。
調整したディスプレイの角度は記憶される。



ディスプレイの開閉

イグニッションキーをONにするだけで、操作することができます。

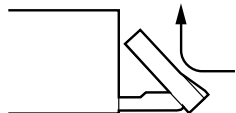
- 1 「CD ▲」または「MD ▲」を押す。
ディスプレイが開く。



(ディスプレイが開ききった状態)

- 2 ディスプレイを戻すには、「CD ▲」または「MD ▲」を押す。

- ・角度調整あり
ディスプレイは記憶された角度となる。
- ・角度調整なし
ディスプレイは全開する。

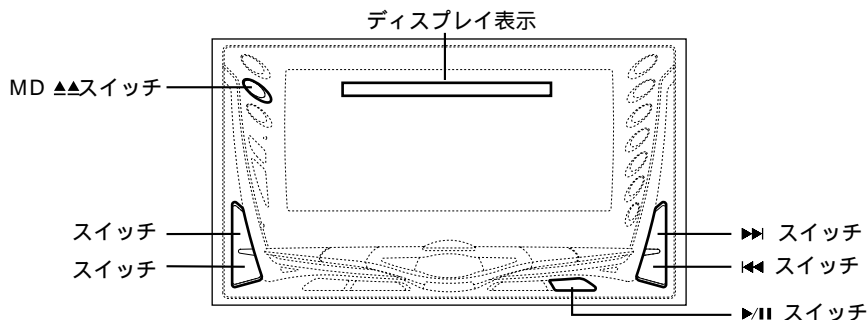


Memo

ディスプレイが開ききった状態では、「CD ▲」または「MD ▲」以外、操作できません。本機の電源がONのとき、開ききった状態で30秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。イグニッションキーをOFFにしてからしばらくすると、ディスプレイは全開します。



MD (ミニディスク) を聴く



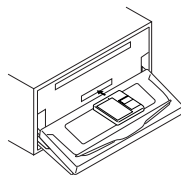
MD (ミニディスク) を聴く

- 1 「MD ▲」を押して、ディスプレイを開く。



- 2 ミニディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり、演奏がはじまる。

< 挿入時の注意 >
ラベル面を上にする。
ディスクに印字された矢印に従い、挿入する。



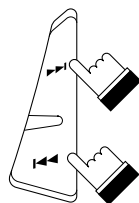
すでにミニディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、MD モードにすると演奏がはじまります。

→ TUNER → MD → CD → CHANGER →
(チェンジャー接続時のみ)

- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し ... 「◀◀」を押す。
早戻し 「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し 「▶▶」を押す。
早送り 「▶▶」を押し続ける。

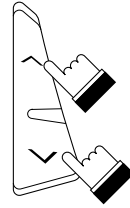


T04 → T05

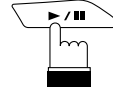
ディスプレイ表示例



- 4 「**▲**」または「**▼**」を押して、音量 (0 ~ 35) を調整する。



- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



MD II T01

ディスプレイ表示

- 6 ミニディスクを取り出すときは、「MD
▲」を押す。
ミニディスクは必ず取り出す。



OPEN

ディスプレイ表示

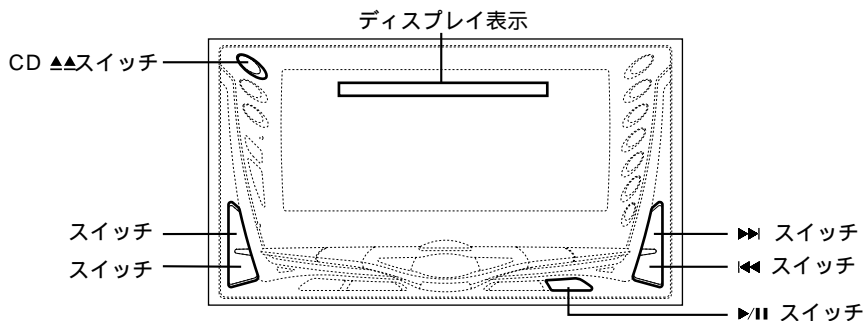
- 7 開いたディスプレイを戻すには、「MD
▲」を押す。



ディスプレイが開いた状態で 30 秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
MD モードでは < FUNC > インジケーターが常に点灯しています。



CD を聴く

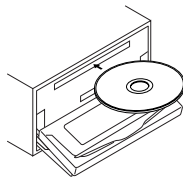


CD を聴く

1 「CD ▲▲」を押して、ディスプレイを開く。



2 ディスクを挿入する。
ディスプレイが閉まり、演奏が始まる。
<挿入時の注意>
ラベル面を上にする。



すでにディスクが入っているときは、「SOURCE」を押して、CD モードにすると演奏が始まります。

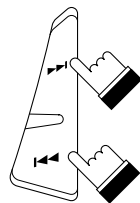
→ TUNER → MD → CD → CHANGER →
(チェンジャー接続時のみ)

シングル CD (8cm CD) はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。

3 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

演奏中の曲の頭出し ...「◀◀」を押す。
早戻し「◀◀」を押し続ける。

次の曲の頭出し「▶▶」を押す。
早送り「▶▶」を押し続ける。

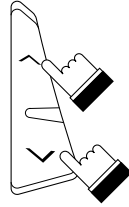


T04 → **T05**

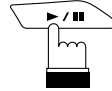
ディスプレイ表示例



- 4 「**▲**」または「**▼**」を押して、音量（0 ~ 35）を調整する。



- 5 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



CD II T01

ディスプレイ表示

- 6 ディスクを取り出すときは、「CD ▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。



OPEN

ディスプレイ表示

- 7 開いたディスプレイを戻すには、「CD ▲」を押す。

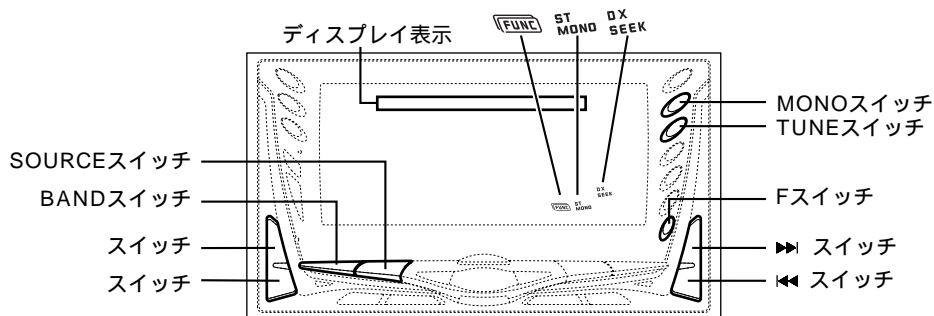


Memo

ディスプレイが開いた状態で 30 秒間たつと、警告ブザーが鳴ります。
CD モードでは < FUNC > インジケーターが常に点灯しています。

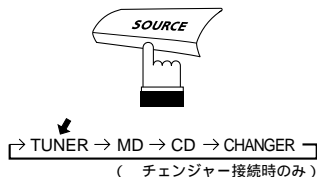


ラジオを聴く

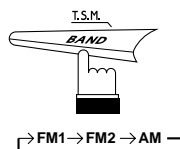


ラジオを聴く

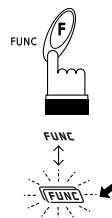
- 1 「SOURCE」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。
(パワーアンテナ装着車のみ)



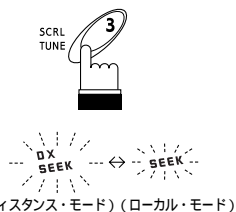
- 2 「BAND」を押して、バンドを選ぶ。



- 3 「F」を押して、< FUNC > インジケータを点灯させる。

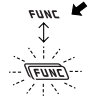
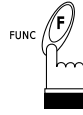


- 4 「TUNE」を押して、チューニングモードを選ぶ。





5 「F」を押して、< > インジケーターを消す。



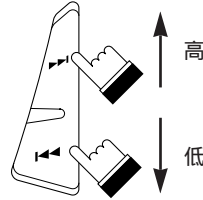
Memo

初期設定はディスタンス・モードに設定されています。
 ・ディスタンス・モードのとき... 受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
 ・ローカル・モードのとき..... 電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)

6 「▶▶」または「◀◀」を2秒以上押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。

81.3 MHz

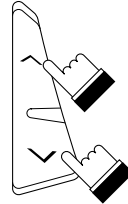
ディスプレイ表示例



Memo

周波数を1段階ずつ変える(手動選局するには、「▶▶」または「◀◀」を軽く押ししてください。

7 「」または「」を押して、音量(0 ~ 35)を調整する。



モノラル受信に切りかえる

ディスプレイに< ST >インジケーターが点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。ノイズが多くFMステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。
 (AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)

1 「F」を押して、< > インジケーターを点灯させる



2 「MONO」を押して、< MONO >インジケーターを点灯させる。



3 解除するには、再度「MONO」を押す。

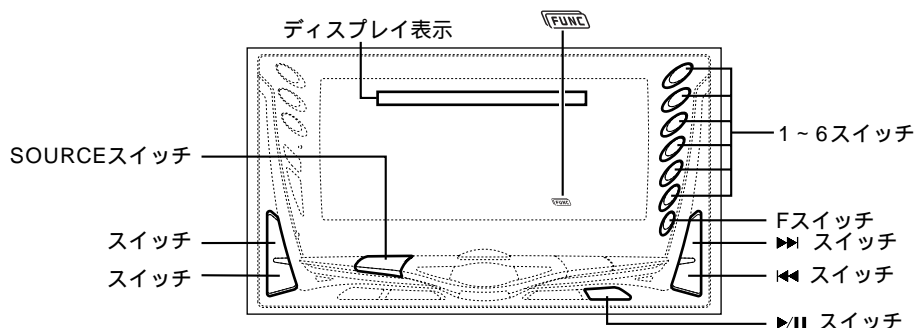
4 「F」を押して、< > インジケーターを消す。



ここだけ読めば使えます



チェンジャーでCD (MD) を聴く



チェンジャーでCD (MD) を聴く

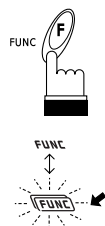
- 1 「SOURCE」を押して、CHANGERモードにする。



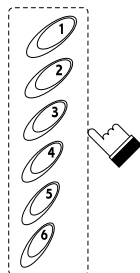
→ TUNER → MD → CD → CHANGER →
(チェンジャー接続時のみ)

- 2 チェンジャーのディスク No.1 ~ 6 を選ぶときは「F」を押して、< FUNC > インジケーターを点灯させる。

FM 多重を表示している場合は操作できない。
 「FM MULTI」を2秒以上押して、FM 多重モードを終了させてから使用する。
 (MDA-W779JBのみ)



- 3 「1」~「6」のいずれかを押す。
 「1」~「6」はディスク No.1 ~ 6 に相当する。



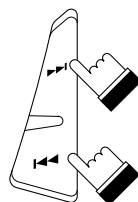


- 4 「▶▶」または「◀◀」を押して、聴きたい曲 (トラック No.) を選ぶ。

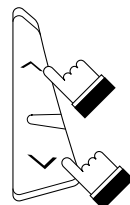
ディスプレイ表示例

D02 T05 00'16

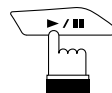
ディスク No. トラック No. 演奏経過時間



- 5 「**▲**」または「**▼**」を押して、音量 (0 ~ 35) を調整する。



- 6 演奏を一時停止するときは、「▶||」を押す。
再度「▶||」を押すと、演奏が再開する。



D03 II T01

ディスプレイ表示

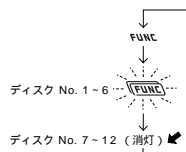


Memo

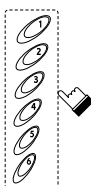
曲の早送り / 早戻しをするには、「▶▶」または「◀◀」を押し続けます。

12 連奏チェンジャーのディスク No.7 ~ 12 を選ぶときは、次の手順で操作してください。

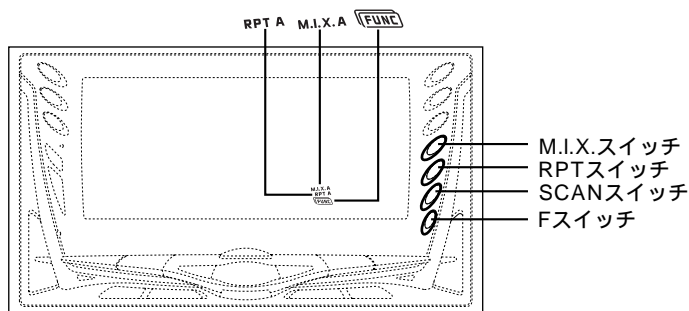
- 1 「F」を押して、< **FUNC** > インジケーターを点灯させる。さらに「F」を押して < **FUNC** > インジケーターを消灯させる。



- 2 「1」 ~ 「6」のいずれかを押す。「1」 ~ 「6」はディスク No.7 ~ 12 に相当する。



曲のイントロだけを聴く (MD/CD)



曲のイントロだけを聴く (SCAN)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探することができます。

- 1 「SCAN」を押す。
次の曲から順に、曲の初め（イントロ）だけが約 10 秒間ずつ演奏される。

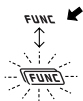
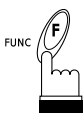


- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「SCAN」を押す。
その曲の演奏を続ける。



チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く / 曲順を変えて聴く / 繰り返し聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように < > インジケーターを消して
(< FUNC > のみを点灯して) から、各操作手順で行ってください。

- 1 「F」を押す。



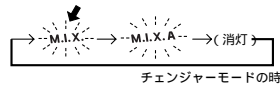
曲順を変えて聴く (MD/CD)

繰り返し聴く (MD/CD)

曲順を変えて聴く (M.I.X.)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「M.I.X.」を押して、< M.I.X. > インジケーターを点灯させる。
順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、再度「M.I.X.」を押す。



チェンジャーを接続したとき、「M.I.X.」を押すことで、「M.I.X. A」が指定できます。

- ・「M.I.X.」を指定..... ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
- ・「M.I.X. A」を指定... 1曲ずつディスクを変えながら演奏します。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

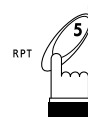
繰り返し聴く (REPEAT)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「RPT」を押して、< RPT > インジケーターを点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。

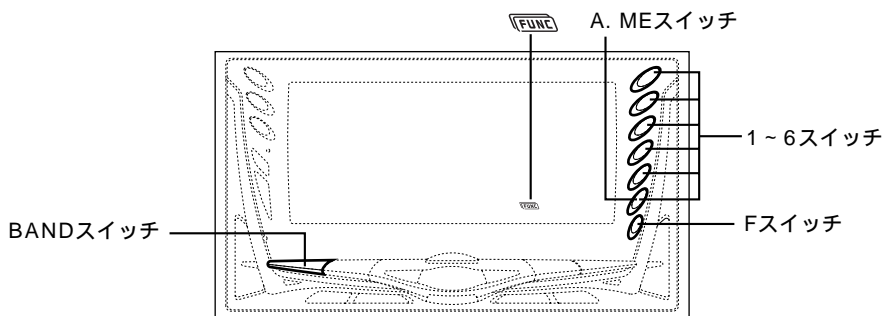


- 2 解除するには、再度「RPT」を押す。



チェンジャーを接続したとき、「RPT」を押すことで、「RPT A」が指定できます。「RPT A」を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
M.I.X.演奏中に、1曲リピートはできません。

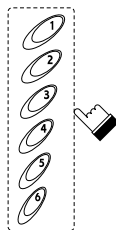
放送局を記憶する



放送局を記憶する

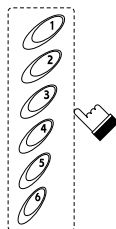
1 「ラジオを聴く」(14 ページ)を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。

2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。
ディスプレイが点滅する。



3 5秒以内に「1」～「6」のうち1つを押す。
押された No.に、放送局が記憶され、点滅から点灯に変わる。

FM1 P1 82.5 MHz



Memo

放送局は24局まで記憶できます。

FM1...6局、FM2...6局、AM...6局、FM+AM...6局(D.A.P.)

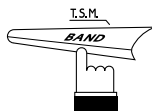
すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

< FUNC > インジケータが点灯している場合は、「F」を押して、< F > インジケータを消してから操作を行ってください。

自動的に放送局を記憶する 記憶した放送局を受信する

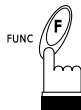
自動的に放送局を記憶する (AUTO MEMORY)

- 1 「BAND」を押して受信したいバンドを表示させる。



→FM1→FM2→AM

- 2 「F」を押して < FUNC > インジケータを点灯させる。

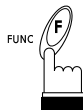


- 3 「A.ME」を押す。
電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



AUTO MEMORY

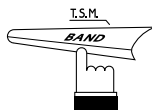
- 4 「F」を押して < FUNC > インジケータを消す。



放送局を 1 つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

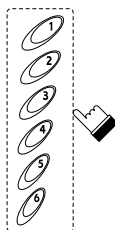
記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。



→FM1→FM2→AM

- 2 「1」～「6」のうち 1 つを押す。
選択した放送局が受信される。

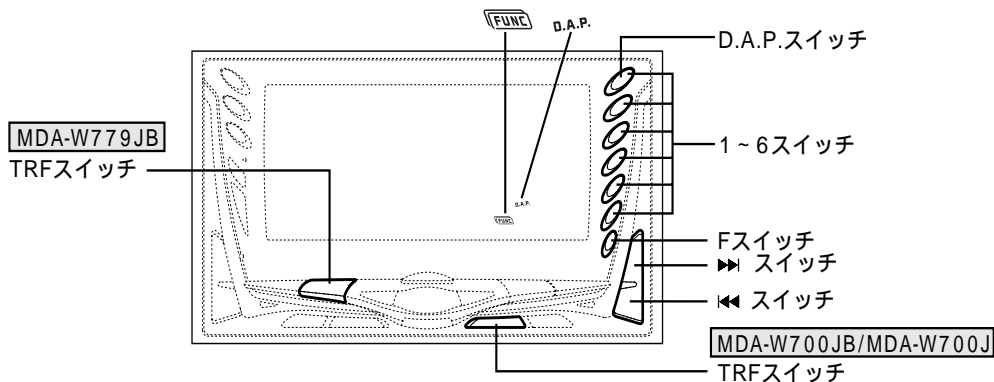


FM1 P2 81.3 MHz



< FUNC > インジケータが点灯している場合は、「F」を押して、< FUNC > インジケータを消してから操作を行ってください。

D.A.P.を利用する



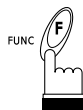
D.A.P.を利用する

D.A.P.とは 通常はバンドFM1にFM局だけ6つ、バンドAMにAM局だけ6つというように帯域毎に記憶します。D.A.P.を使うと「バンド」を意識することなく、6つのプリセットボタンにFMとAMを混在して記憶することができます。受信する放送局が限られているときなどに便利です。

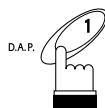
D.A.P.の切りかえ

< D.A.P.のON/OFF切りかえは、< FUNC > インジケータがついているときに行う。 >

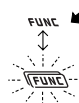
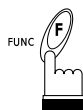
- 1 「F」を押して、< FUNC > インジケータを点灯させる。



- 2 「D.A.P.」を押して、D.A.P.の設定を切りかえる。



- 3 「F」を押して、< FUNC > インジケータを消す。



放送局を記憶する

1 D.A.P.がONのとき、放送局を選択して記憶させる。

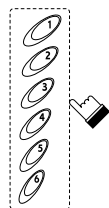
放送局の選択・記憶方法は「放送局を記憶する」(20ページ)または「自動的に放送局を記憶する」(21ページ)を参照。

記憶した放送局を受信する

1 D.A.P.がONのとき、「1」～「6」のうち1つを押す。

選択された放送局が受信される。

FM P3 82.5 MHz



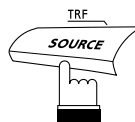
道路交通情報を受信する (TRF)

1 MDA-W779JBでは、「TRF」を2秒以上押す。

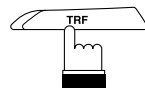
MDA-W700JB/MDA-W700Jでは、「TRF」を軽く押す。

TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。

1620 KHz

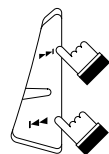


MDA-W779JB

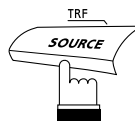


MDA-W700JB/
MDA-W700J

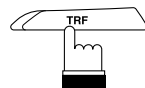
2 「▶▶」または「◀◀」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。



3 解除するには、再度「TRF」を押す。



MDA-W779JB

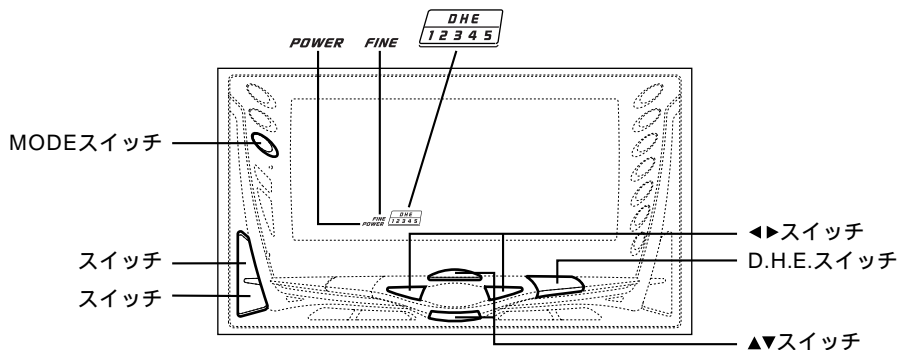


MDA-W700JB/
MDA-W700J



CD、MD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

音質 / バランス / フェダーの調整



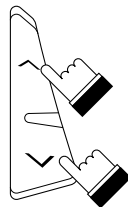
音質 / バランス / フェダーの調整

- 1 「MODE」を押して調整したいモードを選ぶ。



VOLUME	音量調整モード 音を大きくしたり小さくしたりします。(0 ~ 35)
BALANCE	バランス調整モード 左右のスピーカー音量を調整します。(L15 ~ R15)
FADER	フェダー調整モード 前後のスピーカー音量を調整します。(F15 ~ R15)

- 2 5秒以内に「」または「」を押して、好みのレベルに調整する。



モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。「」または「」ボタンは、押し続けると連続で変化します。

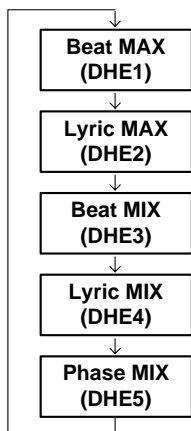
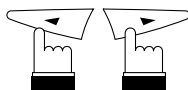
DHE モードを選ぶ

DHE (Digital Harmonics Enhancer) は、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。DHE は CD/MD/ラジオの、どのモードでも有効ですが、特に MD は、高度な圧縮方法で録音されているので効果的です。

- 1 「D.H.E.」を押す。
DHE 選択モードに入る。



- 2 10 秒以内に「◀」または「▶」を押して好みのモードを選ぶ。



特にリズム系 BASS を強調し、ノリの良い低音を再現する。

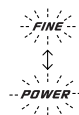
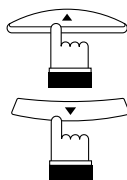
女性ボーカルを特に際立たせて艶やかに再現する。

車室内においてバランスのとれたノリの良い低音を再現する。

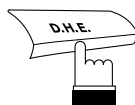
車室内において女性ボーカルをよりクリアに再現する。

どんなジャンルを聴いても、バランスのとれた明瞭度のある音楽を再現する。

- 3 10 秒以内に「**▲**」または「**▼**」を押して、DHE ファインモードまたは、DHE パワーモードを選ぶ。
DHE ファインモードが ON のとき、< FINE > インジケーターが点灯する。
DHE パワーモードが ON のとき、< POWER > インジケーターが点灯する。

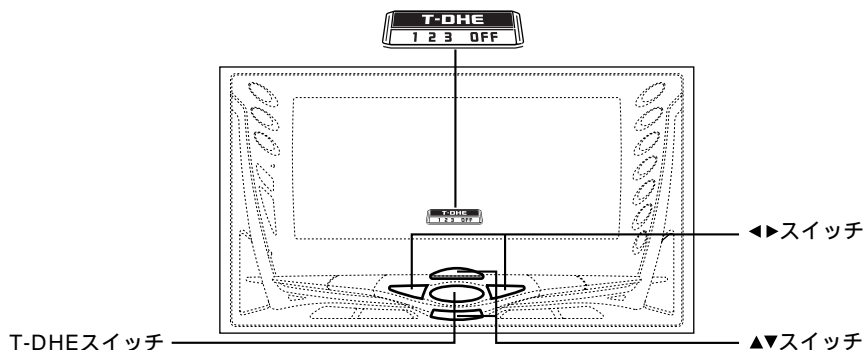


- 4 DHE を解除するには、「D.H.E.」を押す。



DHE ファインモードは、ボーカル/コーラスの「のび」を強調し、明瞭に再現します。
DHE パワーモードを「ON」に設定すると、DHE の効果が向上し、より力強い低音とクリアなサウンドを再現します。

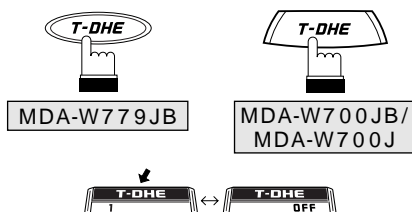
シアター DHE を選ぶ



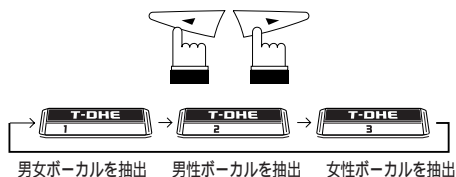
シアター DHE を選ぶ

デジタルテクノロジーの「時間補正」「ボーカル抽出」「レベル補正」により、センタースピーカーがなくても「映画館のようなエネルギー感」「迫力のある音」を前方定位で再現することができます。

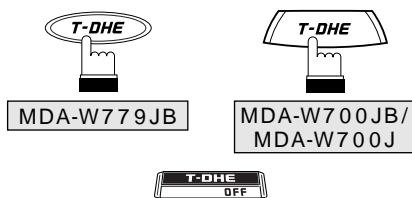
- 1** 「T-DHE」を押す。
シアター DHE 選択モードに入る。



- 2** 10 秒以内に「◀」または「▶」を押す。
お好みのモードを選ぶ。



- 3** 解除するには、「T-DHE」を押す。



シアター DHE とサラウンド、リスニング・ポジションは同時に使用することはできません。
シアター DHE は、「DSP」を押すと解除されます。





シアター DHE のボーカル位置調整

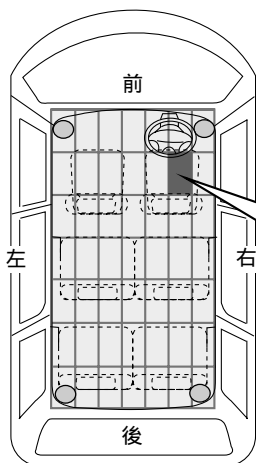
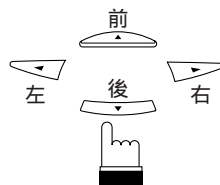
シアター DHE のボーカル位置調整

ボーカル位置をお好みに合わせ調整することができます。

- 1 調整するシアター DHE を選ぶ。
「シアター DHE を選ぶ」26 ページ参照。
- 2 10 秒以内に「T-DHE」を 2 秒以上押す。



- 3 10 秒以内に「」「」または「」「」を押してお好みのボーカル位置に調整する。
イメージ図（4 スピーカーの場合）




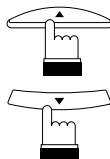
ボーカルを運転席側に調整したイメージ例
(ボーカル位置は 49 ポジションに調整することが可能)

シアター DHE のボーカル位置を移動すると、どうなるの？
そんなときは、ムービング機能をお使いください。「ボーカル」がフロントの左右さらにリアの左右と移動する効果を音で聴くことができます。

ムービング機能

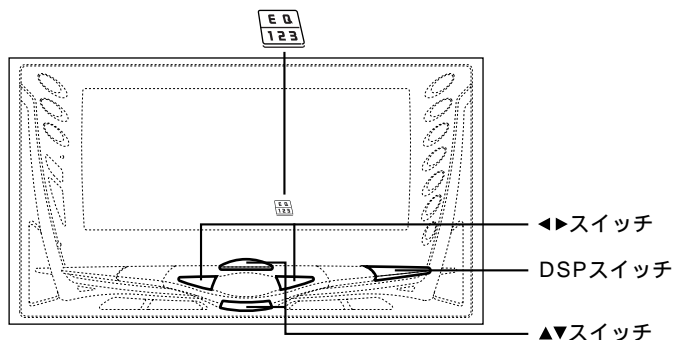
26 ページ手順 2 の後、10 秒以内に「」を押して、ムービング ON にする。

解除するには「」を押す。



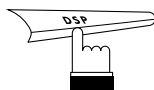
調整した内容は、記憶させることができます。さらに、「イコライザー」と「DHE」も合わせて記憶できますので、他の調整も行った後に記憶させることをお勧めします。記憶方法は「DSP 条件の記憶」(33 ページ)を参照してください。

イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ



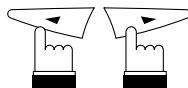
イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ

- 1 「DSP」を押してEQモードを選ぶ。



→ EQ → SUR → LPS → (OFF) ←

- 2 10秒以内に「◀」または「▶」を押す。
お好みのイコライザー特性を選ぶ。



→ EQ 1 → EQ 2 → EQ 3 → EQ (OFF) ←

EQ1	POPS	EQ2	ROCK	EQ3	NEWS	OFF	FLAT
中域中心に全体を強調する		低域および高域を強調する		中域だけを強調する		フラットな周波数	



実際の表示とは異なります。

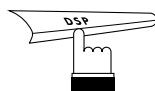
イコライザー・カーブを作る

- 1 調整したいイコライザー特性を選ぶ。
「イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ」（28 ページ）を参照。

例（POPS）の場合

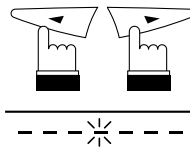


- 2 10 秒以内に、「DSP」を 2 秒以上押す。

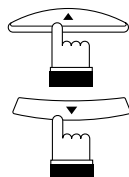


EQ ADJUST

- 3 10 秒以内に、「◀」または「▶」を押して、調整したい周波数帯を点滅させる。

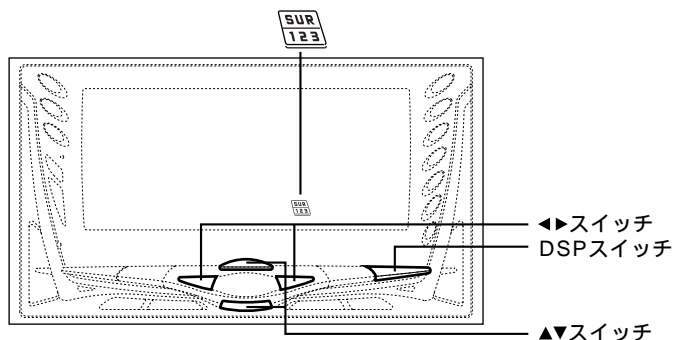


- 4 10 秒以内に、「▲」または「▼」を押して、お好みのレベルに調整する。
さらに別の周波数帯を調整するには上記手順を繰り返し調整を行う。



調整した内容は、記憶させることができます。さらに、「サラウンド」や「DHE」なども合わせて記憶できますので、他の調整も行った後に記憶させることをお勧めします。記憶方法は「DSP 条件の記憶」（33 ページ）を参照してください。

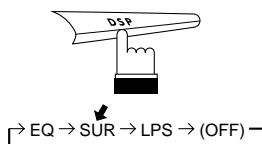
サラウンド・モード（メーカー設定）を選ぶ



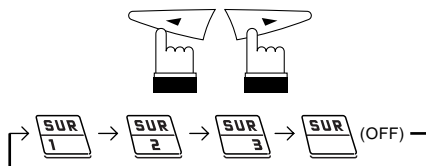
サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶ

本機は、DSP（デジタル・シグナル・プロセッシング）を使って様々な音響空間を作り出すことができます。音楽ソースに応じてサラウンド・モードを選ぶことができます。

- 1 「DSP」を押して、SUR モードを選ぶ。



- 2 10 秒以内に、「◀」または「▶」を押す。
お好みのサラウンド・モードを選ぶ。



SUR1 STADIUM

屋外スタジアムの音場を作り出します。



SUR2 HALL

音の反響によって大きなコンサートホールの音場を作り出します。



SUR3 DANCE

適度な反響でダンスホールの音場を作り出します。



OFF NORMAL

サラウンド・モードは働きません。



サラウンドとシアター DHE は、同時に使用することができません。

サラウンド・レベル/タイムの調整

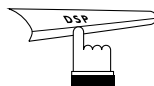
サラウンド・レベル/タイムの調整

サラウンド・レベル/タイムを調整することで音響空間の広がり調整することができます。例えば、「HALL」で SUR Level/SUR Time を + 方向に調整することにより、大きなホールでの音場を再現することができます。

- 1 調整したいサラウンド・モードを選ぶ。
「サラウンド・モード(メーカー設定)」を選ぶ(30 ページ)を参照。



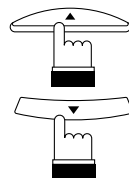
- 2 10 秒以内に「DSP」を 2 秒以上押す。



SUR ADJUST

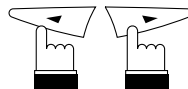
- 3 サラウンド・レベル調整

10 秒以内に、「▲」または「▼」を押して、お好みの SUR Level を調整する。SUR Level は、- 4 ~ + 4 までの段階に調整することができる。



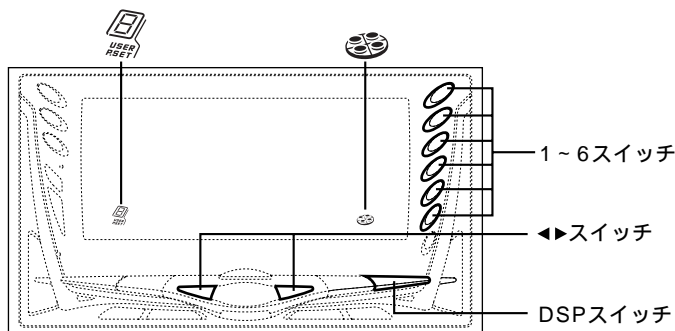
サラウンド・タイム調整

10 秒以内に、「◀」または「▶」を押して、お好みの SUR Time を調整する。SUR Time は、- 4 ~ + 4 までの段階に調整することができる。



調整した内容は、記憶させることができます。さらに、「イコライザー」や「DHE」も合わせて記憶できますので、他の調整も行った後に記憶させることをお勧めします。記憶方法は「DSP 条件の記憶」(33 ページ)を参照してください。サラウンドとシアター DHE は、同時に使用することができません。

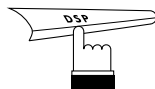
リスニング・ポジションの合わせかた



リスニング・ポジションの合わせかた (L.P.S.)

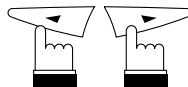
音場を聴きやすい位置に移動でき、どの座席からも自然な広がりのあるサウンドが楽しめます。

- 1 「DSP」を押してLPSモードを選ぶ。



→ EQ → SUR → LPS → (OFF) →

- 2 10秒以内に「◀」または「▶」を押す。
お好みの位置を選ぶ。



→ (全席) → (前席) → (前左席) → (前右席) → (OFF) →



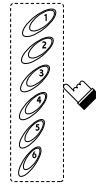
リスニング・ポジションとシアター DHE は同時に使用することができません。

DSP 条件の記憶 記憶した DSP 条件の呼び出し

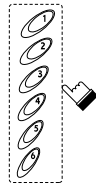
DSP 条件の記憶

メーカー設定および自分で作った条件を記憶させることができます。

- 1 メーカー設定を選ぶか、または自分でカーブを作った後（25 ~ 32 ページ参照）、10 秒以内に「1」～「6」のいずれか 1 つを 2 秒以上押す。



- 2 10 秒以内に記憶させたいスイッチ（「1」～「6」）を押す。
これで選んだ条件が記憶される。
さらに記憶するには上記手順を繰り返す。



（プリセット 2 に記憶の場合）

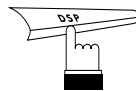


Memo

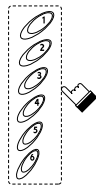
DHE / イコライザー / サラウンド / リスニング・ポジションの状態を記憶させることができます。
シアター DHE の状態を記憶させることも可能ですが、この場合サラウンドとリスニング・ポジションは、記憶できません。
「DHE + EQ + SUR + LPS」の状態、または「T-DHE + DHE + EQ」の状態を記憶します。

記憶した DSP 条件の呼び出し

- 1 「DSP」（または「D.H.E.」、「T-DHE」）を押して、いずれかのモードを選択する。

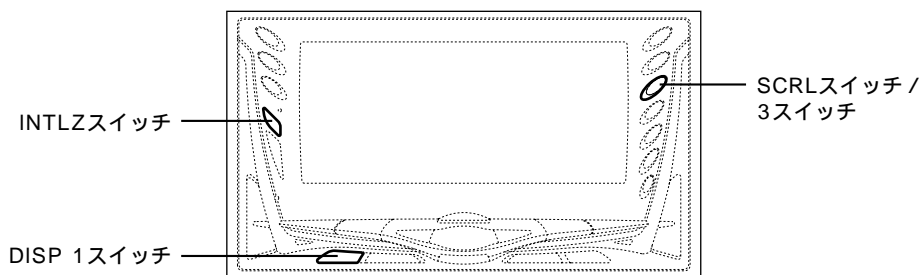


- 2 10 秒以内に呼び出したい「1」～「6」のうち 1 つを押すと、記憶した条件を呼び出せる。



（プリセット 2 を呼び出した場合）

タイトル/テキスト/スクロールとは



タイトル/テキスト/スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいついて説明します。

タイトルとは 文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。「MD」には、文字入力はできませんが、本機以外の製品で入力した文字を表示することができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

テキストとは あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。

タイトル/テキスト入力表示一覧

モード	タイトル		テキスト	
	入力	表示	入力	表示
MD	x		x	x
CD			x	
ラジオ			x	x

スクロールとは 文字を次々と表示させることを言います。表示する文字が16桁を超える場合に便利です。本機では、「MANUALモード」とスクロールを繰り返す「AUTOモード」を搭載しています。本機ではCDテキストとMDタイトルのみスクロール表示します。

「マニュアルモード」のとき、再スクロールを行うには

1

「SCRL」を押す。



チェンジャーの場合は、「F」を押して < > インジケーターを消して (< FUNC > のみ点灯) から、「SCRL」を押してください。

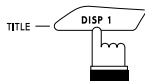


タイトル/テキストを表示する スクロールの設定

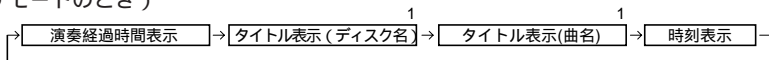
タイトル/テキストを表示する

「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルを表示させることができます。また、CD テキスト対応の音楽 CD や MD の演奏中に、ディスク名/トラック名などを表示させることもできます。

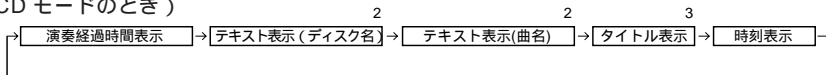
1 「DISP1」を押す。



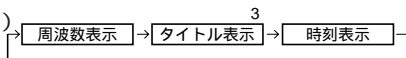
(MD モードのとき)



(CD モードのとき)



(TUNER モードのとき)



- 1 タイトルが入っていない場合は **NO TITLE** と表示される。
- 2 テキストが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される。
- 3 タイトルが入力されていない場合はハイフン 16 桁が表示される。



Memo

グラフィック スクリーンの設定によっては、表示されない場合があります。詳しくは、「グラフィック スクリーンを切りかえる」(48 ページ)を参照してください。CD チェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT 対応の CD チェンジャーのみです。FM 多重が ON の場合、「時刻表示」の後に FM 多重情報が表示されます。(MDA-W779JB のみ)

スクロールの設定

1 「INTLZ」を 3 秒以上押す。



2 「3」を押して、スクロールの設定を切りかえる。



SCROLL AUTO ↔ **SCROLL MANUAL**
(工場出荷時の設定)

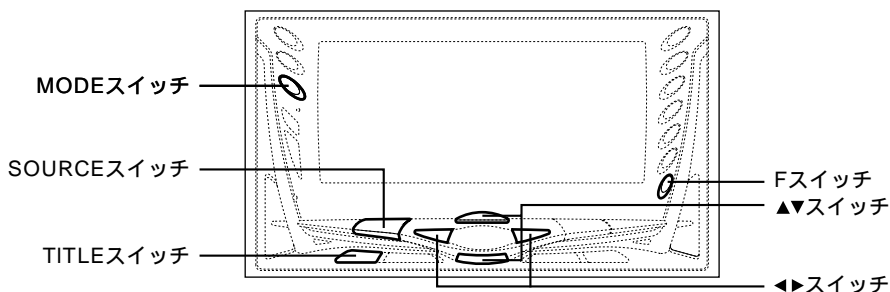
3 設定が終了したら「INTLZ」を押す。 通常表示モードに戻る。



Memo

スクロールするのは、CD テキスト / MD タイトルのみです。

タイトルをつける

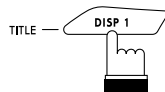


タイトルをつける

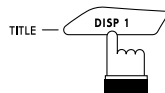
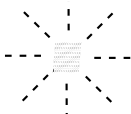
お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。MDA-W700JB/MDA-W700Jでは「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」の入力が可能です。MDA-W779JBでは「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」「数字/記号」「漢字」の入力が可能です。ただし、CDチェンジャー内のディスクには「ひらがな」と「漢字」の入力はできません。

1 タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。(12 ~ 17 ページ参照)

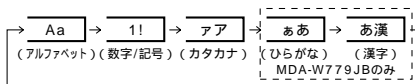
2 「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは「タイトル/テキストを表示する」(35 ページ)を参照。



3 「TITLE」を2秒以上押す。
ディスプレイの1桁目が点滅し、入力可能となる。



4 10秒以内に、「MODE」を押して、文字の種類を選ぶ。

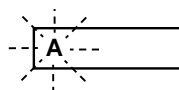
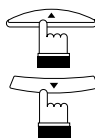


タイトルをつける

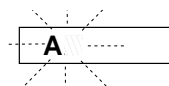
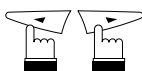
5

アルファベット / 数字 / 記号 / カタカナ / ひらがな入力 (ひらがな入力は、MDA-W779JBのみ)

- ① 「**▶**」または「**◀**」を押して、入力したい文字記号を選ぶ。



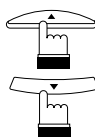
- ② 「**▶**」を押して、1桁目を確定させる。「**◀**」を押すと、前の桁に戻る。



漢字入力 (MDA-W779JBのみ)

- ① 「**▶**」または「**◀**」を押して入力したい漢字の読み (音読み) を選ぶ。

西 亜 唾 娃 阿 哀 愛 挨 挨 始 逢 葵 あ 漢

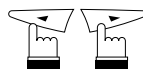


- ② 「**◀**」または「**▶**」を押して入力したい漢字を選ぶ。漢字列は「**F**」で切りかえる。

西 穂 悪 握 瀧 旭 葦 芦 鯨 梓 あ 漢

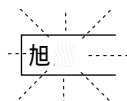


(漢字列選択)



(漢字選択)

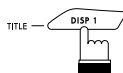
- ③ 「**SOURCE**」を押して、漢字を選択する。「**◀**」を押すと、前の桁に戻る。



6

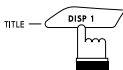
4 ~ 5を繰り返し16桁 (CDチェンジャーは8桁) まで入力できる。

入力したタイトルを記憶させるには、最後の文字を確定させた後、「**TITLE**」を押す。



7

タイトル表示モードを解除するには、「**TITLE**」を押して、表示モードを切りかえる。



Memo

本機では、MDにタイトルを入力することはできません。
ラジオ放送局には最大24局 (FM/AM合わせて) まで、タイトルをメモリーできます。
本機内蔵のCDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。
手順4 ~ 6の各操作は、10秒間操作を行わないと、入力モードが解除されます。

タイトルをつける

< 入力可能文字一覧 >

カナ

(空白)	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ
ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ツ	ツ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ
ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ペ	ホ
ボ	ボ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ
ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	°	°							

MDA-W700JB/MDA-W700Jで「パ」「ボ」などの濁音、半濁音を入力するには「°」「°」の入力が必要です。(「°」「°」はMDA-W700JB/MDA-W700Jのみ)

英字

(空白)	A	a	B	b	C	c	D	d	E
e	F	f	G	g	H	h	I	i	J
j	K	k	L	l	M	m	N	n	O
o	P	p	Q	q	R	r	S	s	T
t	U	u	V	v	W	w	X	x	Y
y	Z	z							

数字記号

(空白)	0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	!	#	\$	%	&	'	()	*
+	,	.	/	:	;	<	=	>	?
@	[]	-						

ひらがな (MDA-W779JBのみ)

(空白)	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ
く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ
ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	や	や	ゆ	ゆ	よ	よ	ら	り
る	れ	ろ	わ	を	ん									

漢字 (MDA-W779JBのみ)

漢字は、「JIS第1水準」(2,965字)となっています。

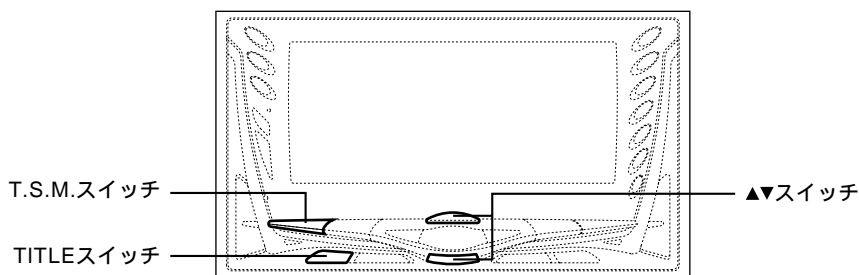


Memo

ディスプレイに **Full Data** と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。

タイトル名を消すには (空白) を選び、入力してください。
CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。
曲にタイトルをつけることはできません。

記憶したタイトルから CD を選ぶ

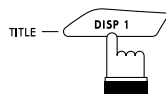


記憶したタイトルから CD を選ぶ (CD チェンジャーのみ)

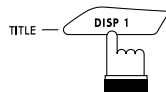
マガジン内の CD につけられたタイトルから CD を選び出すことができます。

- 1 CD チェンジャー・モードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。

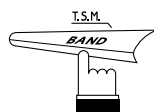
詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(35 ページ)を参照。



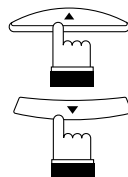
- 2 「TITLE」を 2 秒以上押す。タイトルの 1 桁目が点滅する。



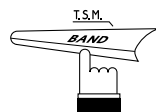
- 3 「T.S.M.」を押す。選択モードになり、ディスクのタイトルが点滅表示される。



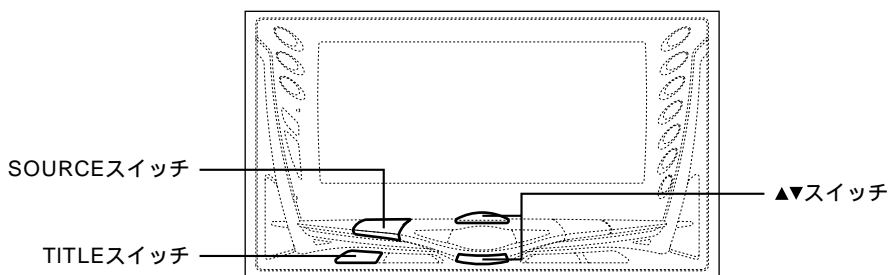
- 4 10 秒以内に「▲」または「▼」を押して、聴きたいディスクのタイトルを選ぶ。



- 5 「T.S.M.」を押す。選択モードが解除され、聴きたいタイトルのディスクを演奏する。



記憶したタイトルを消す

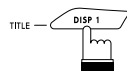


記憶したタイトルを消す (CD チェンジャーのみ)

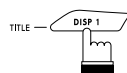
CD チェンジャーでは、記憶したタイトルを簡単に消去することができます。

- 1** CD チェンジャー・モードのときに、「TITLE」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。

詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(35 ページ)を参照。



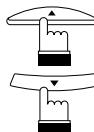
- 2** 「TITLE」を 2 秒以上押す。
タイトルの 1 桁目が点滅する。



- 3** 10 秒以内に「SOURCE」を 2 秒以上押す。
最初にメモリーされたタイトルが点滅する。



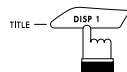
- 4** 10 秒以内に「▲」または「▼」を押して消去したいタイトル名を探す。



- 5** 「SOURCE」を 2 秒以上押す。
タイトルが消去される。



- 6** タイトル消去モードを解除するには、「TITLE」を 2 秒以上押す。



ラジオ放送局、本機内蔵 CD のタイトルを消すには、消したいタイトルに空白を上書きしてください。

FM 文字多重放送について (MDA-W779JBのみ)

FM 文字多重放送について

FM 文字多重放送とは FM 放送電波を使って文字を送る放送です。

放送局からは、音声とともに文字情報が送られてきます。

FM 放送中の曲名、演奏者の情報やニュース、天気予報、交通情報などを知ることができます。

番組について

1 つの放送局からは、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は放送局により異なります。番組はメニュー画面で選ぶことができます。

××××FM ミエルラジオ MAIN MENU
1. 番組情報 2. 天気情報 3. ニュース
4. 交通 5. コウイウ話 6. 県内情報

表示内容と表示方法

	連動情報番組	独立情報番組
情報	番組に関する情報 FM 音声放送と連動した番組で、放送中の曲や受付電話番号などの情報を表示する。	ニュース、交通情報など FM 音声放送とは関係のない番組で、ニュース、交通情報、天気予報を表示する。
ページ送り	放送局の信号により自動的に切りかわる。	手動で切りかえる。(44 ページ参照)
補足	最新の 10 ページ分は記憶しており、「▶」または「◀」で呼び出すことができます。	

××××FM ミエルラジオ バングミレンドウ	××××FM ミエルラジオ テンキジョウホウ
!!!リクエスト募集!!!	今夜 はれ 時々 あめ
FAX NO. 03-××××-××××	明日 曇り 一時 あめ

本機の多重情報表示は「3 行を 1 ページ」としており、連動情報番組、独立情報番組で表示が違います。

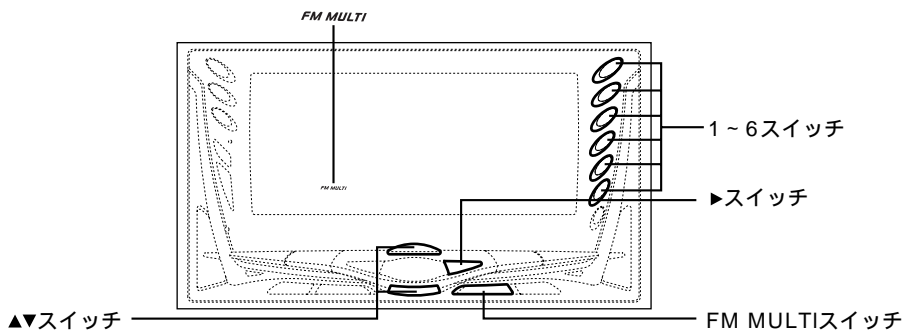
「FM 多重スクロール」機能	連動情報番組	独立情報番組
AUTO	「3 行 1 ページ」の情報を 1 行 - 2 行 - 3 行 - 1 行 - と表示し、ページ送り情報を受信すると「次のページ」を表示する。	「3 行 1 ページ」の情報を 1 行 - 2 行 - 3 行 - 1 行 - と表示し続ける。ページ送りは手動で行う。(44 ページ参照)
MANUAL	「3 行 1 ページ」の情報を 1 行のみ表示する。行を切りかえるには、「▶」または「◀」を押す。	
補足	FM 多重スクロールの設定については 46 ページを参照。	



Memo

受信状態の悪い場所では、データを受信できない場合があります。データの表示中に受信状態が悪くなったとき、文字情報を正しく表示しない場合があります。文字情報を表示するまでに時間がかかる場合があります。また、表示されるまでの時間は、受信状態やデータの量により異なります。データ受信中は、「現在データ受信中」と表示されます。また、なんらかの理由で受信できなかった場合は「多重放送を受信できません」と表示します。FM 多重モード中は常に情報の蓄積を行っています。そのため、オート・アンテナ車はアンテナが常に伸びた状態になります。アンテナを縮めたい場合は、FM 多重モードを終了させてください。

FM 多重モードを選ぶ (MDA-W779JB のみ)

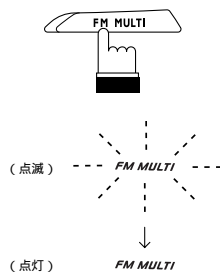


FM 多重モードを選ぶ

1 TUNER (FM) モードで、FM 多重を放送している放送局を受信する。

2 「FM MULTI」を押す。

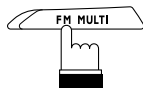
- ・ FM 多重モードとなり < FM MULTI > インジケーターが点滅して情報の蓄積を開始する。
- ・ 情報を蓄積すると < FM MULTI > インジケーターが点滅から点灯に切りかわる。
- ・ データの受信ができない場合は「多重放送を受信できません」と表示される。



3 ディスプレイに文字情報 (番組情報など) が表示される。



4 FM 多重モードを終了させるには、FM 多重が表示されているときに「FM MULTI」を2秒以上押す。



番組情報 (番組連動) の場合、自動的に情報 (表示) が切りかわります。(FM 多重スクロールが AUTO の場合)

「SOURCE」を押して他ソース (CD など) を選択した場合、FM 多重モードは継続しています。FM 多重モードを終了させるには、「FM MULTI」を2秒以上押ししてください。



番組メニューを選ぶ (MDA-W779JBのみ)

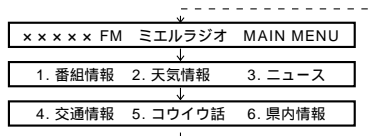
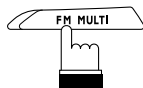
番組メニューを選ぶ

FM 多重モードにすると自動的に「番組情報」が表示されますが、「天気情報」や「ニュース」などの独立情報番組を見るには、メニュー選択が必要です。

1 FM 多重モード中に「FM MULTI」を押す。

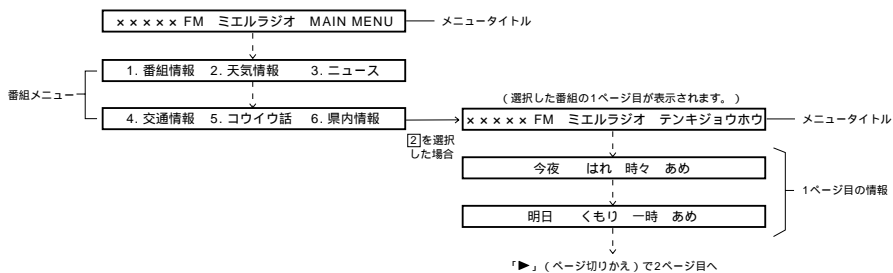
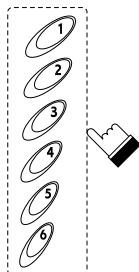
番組メニューが表示される。

- ・ FM 多重スクロール設定が「ON」の場合、自動的に行のスクロールを行う。「FM 多重スクロールの設定」(46 ページ)を参照。
- ・ FM 多重スクロール設定が「OFF」の場合、「」または「」で行の切りかえを行う。



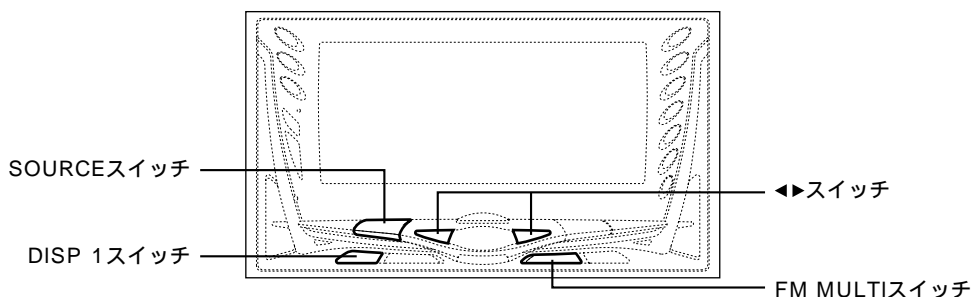
2 番組メニュー表示中に「1」～「6」のいずれかを押して、番組メニュー番号を選択する。

サブメニューがある場合は、再度、「1」～「6」のいずれかを押して選択する。



番組メニューは放送局によりメニュー数や内容が異なります。「天気予報」「ニュース」などの独立情報番組は、ページ切りかえが必要です。ページの切りかえについては、44 ページを参照してください。

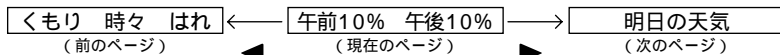
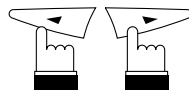
ページの切りかえ (MDA-W779JBのみ)



ページの切りかえ

FM多重スクロールの設定が「AUTO」の場合、連動情報番組(番組連動)では、ページの切りかえを行わなくても自動で切りかわりますが、「天気予報」「ニュース」などの独立情報番組は、本機側でページの切りかえが必要です。

- 1 「◀」または「▶」を押して、ページを切りかえる。



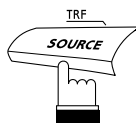
次ページの情報が蓄積されていない場合は、次ページの切りかえはできません。
番組によって(番組連動など)は、自動で切りかわる場合があります。
次ページ、前ページの切りかえに時間がかかる場合があります。

文字情報を見ながらディスク演奏を聴く (MDA-W779JBのみ) 放送局名を表示する (MDA-W779JBのみ)

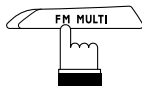
文字情報を見ながらディスク演奏を聴く

本機では、ディスクの演奏を聴きながら、文字情報を見ることができます。

- 1 「SOURCE」を押して聴きたいモード (CD/MD など) を選び、演奏させる。ディスクの演奏を聴きながら文字情報を見ることができる。



- 2 FM 多重モードを終了させるには、FM 多重が表示されているときに「FM MULTI」を2秒以上押す。

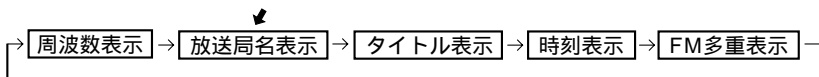
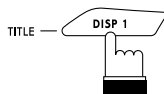


ディスク演奏時間やタイトル、テキストを表示させるには、「DISP1」を押して、表示を切りかえてください。

放送局名を表示する

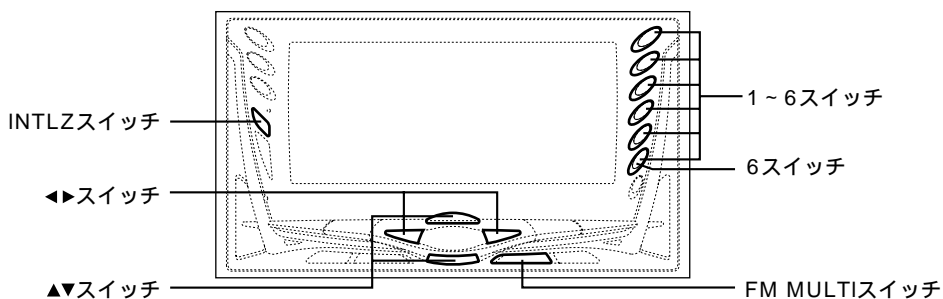
放送局側から放送局名の情報が送信されている場合は、本機のディスプレイに放送局名を表示させることができます。

- 1 「DISP1」を押して放送局名表示モードを選ぶ。



放送局名はTUNERモード中 (FM多重がON) でFM多重放送局からの局名情報を受信しているときのみ表示されます。

FM 多重スクロールの設定 (MDA-W779JB のみ)



FM 多重スクロールの設定

スクロールを「オート」に設定すると文字情報をスクロールさせることができます。

1 「INTLZ」を3秒以上押す。



2 「6」を押して、設定を切りかえる。



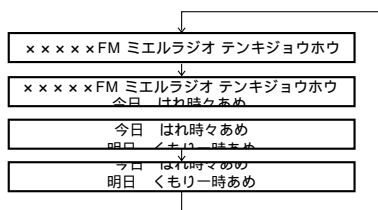
FM 多重 AUTO (オート)
文字情報の行をスクロールさせる。
FM 多重 MANUAL (マニュアル)
行のスクロールは「 」または「 」で行う。

(工場出荷時の設定)



スクロールが「オート」の場合

「×××× FM ミエルラジオ テンキジョウホウ
今日 はれ時々あめ
明日 くもり一時あめ」という
情報を本機では右記のようにスクロール表示させる。
独立情報番組でスクロールするのは、1 ページ (3 行) の情報のみ。



3 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。



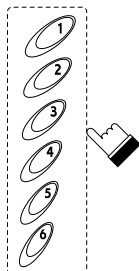
番組連動の場合は、「AUTO」に設定すると自動的にページが切りかわります。ただし、次ページ情報が入らない場合は、前情報のスクロールを行います。
ニュース、スポーツなどの独立情報番組では、1 ページ (3 行) のみスクロールします。次ページには「▶」を押して切りかえてください。

文字情報の記憶 (MDA-W779JB のみ) 記憶した情報を読み出す (MDA-W779JB のみ)

文字情報の記憶

文字情報を本機のプリセット・スイッチ(「1」～「6」まで計6つ)に記憶させることができます。

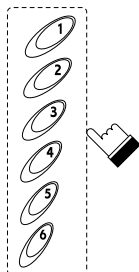
- 1 記憶させたい番組を表示させた後、プリセット・スイッチ(「1」～「6」のうち1つ)を2秒以上押す。



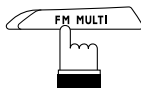
記憶できるのは1ページ分の情報です。

記憶した情報を読み出す

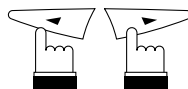
- 1 記憶したプリセット・スイッチ(「1」～「6」のうち1つ)を押す。



- 2 番組表示に戻すには、「FM MULTI」または、「◀」/「▶」を押す。

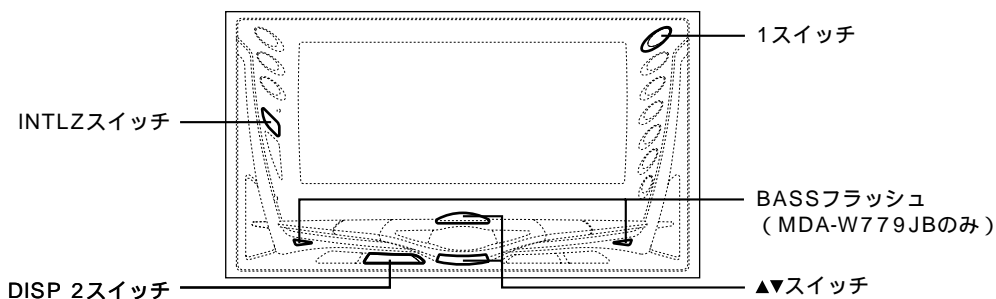


または



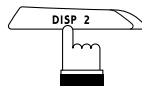
情報は1ページ分(3行)記憶されています。

グラフィック スクリーンを切りかえる



グラフィック スクリーンを切りかえる

- 1** 「DISP2」を押す。
グラフィック・デザインのパターンの中から
お好みのパターンを選ぶ。



No.	表示内容
1	上昇表示
2	下降表示
3	センター振り分け表示
4	楕円表示
5	スクエア表示
6	ミルキーウェイ表示

No.	表示内容
7	スペースシップ表示
8	SCAN表示 (No.1 から No.7 までを 10秒ずつ表示)
9	サイレント表示



Memo

サイレント表示について
グラフィック スクリーンを OFF にします。音楽を「じっくり」楽しみたいときなど、
シックな雰囲気演出します。
「サイレント表示」にした場合、BASS フラッシュ（音楽などの低音に反応して点滅）
は、点滅しません。（MDA-W779JBのみ）
「DISP1」を押して、タイトルや時刻表示を選ぶときは、上記 No. 4 ~ 8 以外に設定
してください。

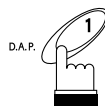
操作音の切りかえ

スイッチを押したときに操作音を鳴らして、操作を受けつけたことを伝えます。また操作音の音量をお好みに合わせて調整することができます。



- 1 「INTLZ」を3秒以上押す。

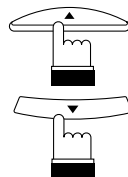


- 2 「1」を押して、Sound Guide の設定を切りかえる。



Sound Guide 5 ↔ Sound Guide OFF
(工場出荷時の設定)

- 3 「」または「」を押して、Sound Guide のレベル(1 ~ 9)を調整する。

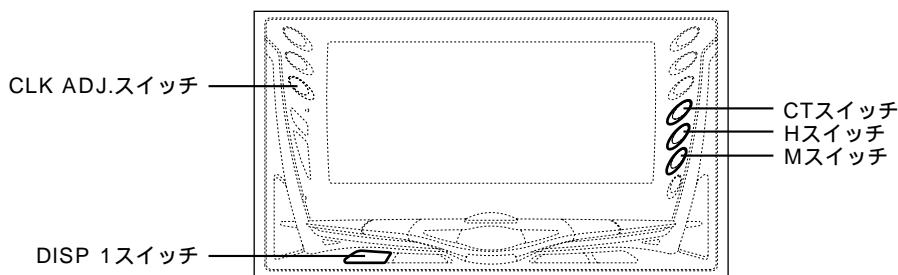


- 4 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。



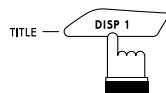
操作音の切りかえは、可動ディスプレイの警告ブザーの音と連動しています。

時刻を設定する

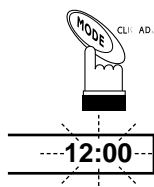


時刻を設定する

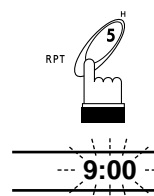
- 1** 「DISP1」を繰り返し押し続けて、時刻表示モードにする。
「時刻を表示する」(51 ページ)を参照。



- 2** 「CLK ADJ.」を2秒以上押す。
時刻が点滅して、調整モードに入る。

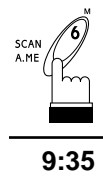


- 3** 5秒以内に「H」を押して、「時間」を調整する。



9:35 に合わせる場合

- 4** 5秒以内に「M」を押して、「分」を調整する。
「時刻」を合わせてから5秒後に時刻が確定される。



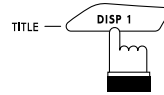
時報に合わせたいときは、「時」設定後に「CT」を押すと「分」表示が「00」となります。「:30」を超えた表示のときに「CT」を押すと「時」は繰り上がります。どのモード(MD、ラジオ、チェンジャーなど)でも時刻を設定することができます。

時刻を表示する

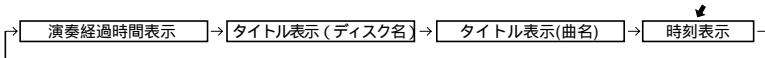
1 「DISP1」を繰り返し押しして、時刻表示モードを選ぶ。

時刻表示モードは、グラフィック スクリーンが「上昇表示」「下降表示」「センター振り分け表示」「サイレント表示」の場合のみ選ぶことができる。

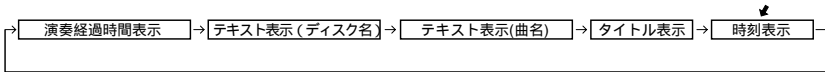
「グラフィック スクリーンを切りかえる」(48 ページ)を参照。



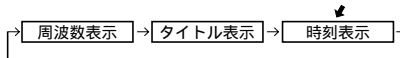
(MD モードのとき)



(CD モードのとき)



(TUNER モードのとき)

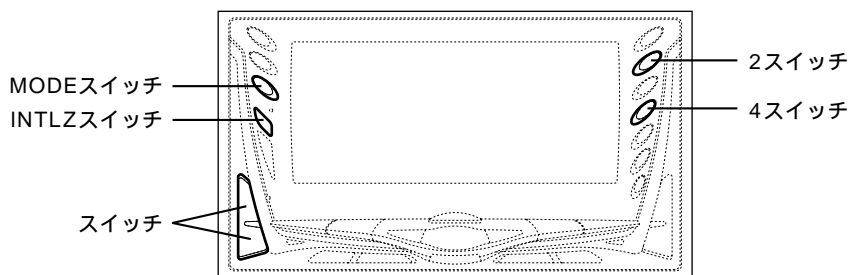


電源が OFF の状態では、時刻表示はできません。

時刻を表示している状態で、ラジオ / MD などを操作すると、行った操作を数秒間表示した後、時刻表示に戻ります。

FM 多重が ON の場合、「時刻表示」の後に FM 多重情報が表示されます。(MDA-W779JB のみ)

サブウーハーを接続する



サブウーハーを接続する

サブウーハーを使うには、ローパスフィルター（一定の周波数以下の成分を通すフィルター）内蔵アンプをお使いください。

- 1 「INTLZ」を3秒以上押す。



- 2 「4」を押して、Subwoofer を ON にする。



- 3 設定が終了したら「INTLZ」を押す。
通常表示モードに戻る。



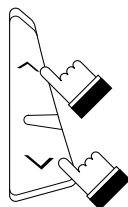
- 4 「MODE」を押して Subwoofer モードを選ぶ。



➤ VOLUME → BALANCE → FADER → Subwoofer

外部割り込みモードの設定

- 5 5秒以内に「**INTLZ**」または「**MONO**」を押して、サブウーハー出力のレベル（-10 ~ +5）を調整する。



モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。「**INTLZ**」または「**MONO**」は、押し続けると連続で変化します。

外部割り込みモードの設定

Ai 割り込み BOX (NVE-K200) と組み合わせると、音楽 CD 再生対応ナビゲーションでの CD 音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは NVE-K200 側の説明書を参照してください。

- 1 「**INTLZ**」を3秒以上押す。



- 2 「**2**」を押して、MUTE OFF にする。

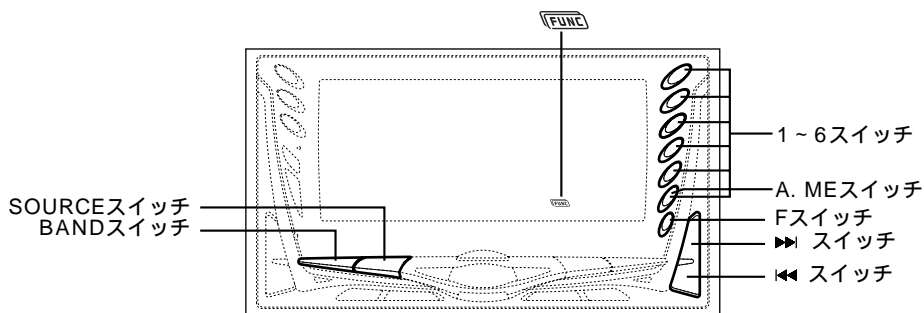


MUTE ON ↔ MUTE OFF
(工場出荷時の設定)

- 3 設定が終了したら「**INTLZ**」を押す。
通常表示モードに戻る。



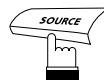
TV (Ai-NET 対応) を操作する



TV (Ai-NET 対応) を操作する

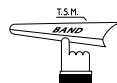
放送局を選ぶ

- 1 「SOURCE」を押して、TV モードにする。



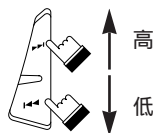
▶ TUNER → TV → MD → CD → CHANGER
(各ユニットを接続している場合に表示)

- 2 「BAND」を押してバンドを選ぶ。



▶ TV1 → TV2 → TV3

- 3 「▶▶」または「◀◀」を2秒以上押し、放送局を選ぶ。



チャンネルを1段階ずつ変えるには「▶▶」または「◀◀」を軽く押ししてください。

TV (Ai-NET 対応) を操作する

選んだ放送局を記憶する < 手動記憶 >

1 「放送局を選ぶ」を参照して記憶させたい放送局に合わせる。

2 「1」～「6」のうち1つを2秒以上押す。

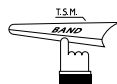


3 5秒以内に、「1」～「6」のうち1つを押す。
押された No. に放送局が記憶される。



選んだ放送局を記憶する < 自動記憶 >

1 「BAND」を押して記憶させたいバンドを選ぶ。
↳TV1→TV2→TV3



2 「F」を押して、< FUNC > インジケータを点灯させる。



3 「A.ME」を押す。
電波の強いチャンネルを選択し、「1」～「6」に記憶される。

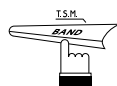


4 「F」を押して、< FUNC > インジケータを消す。



記憶した放送局を受信する

1 「BAND」を押してバンドを選ぶ。
↳TV1→TV2→TV3



2 「1」～「6」のうち1つを押す。
ダイレクトに放送局が受信される。



リモコン操作

使用時のご注意

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け 2 メートル以内でお使いください。

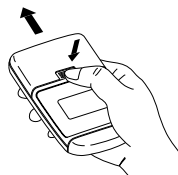
リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

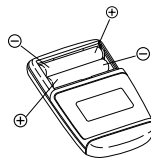
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

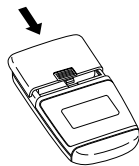
- 1** フタを開ける
フタを少し強めに押しながら外側へ押す。



- 2** 電池を入れる
本体の ⊕、⊖ 表示通り入れる。



- 3** フタを閉める
“カチッ”と音がして固定される。



Memo

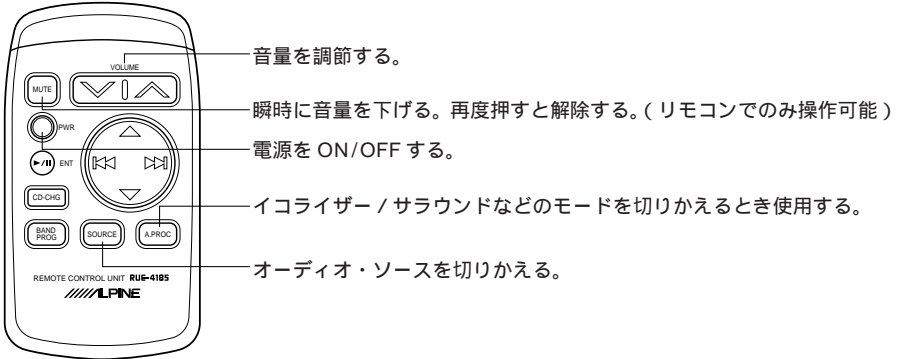
電池は単 4 乾電池 (UM-4) × 2 をご使用ください。

⚠ 警告

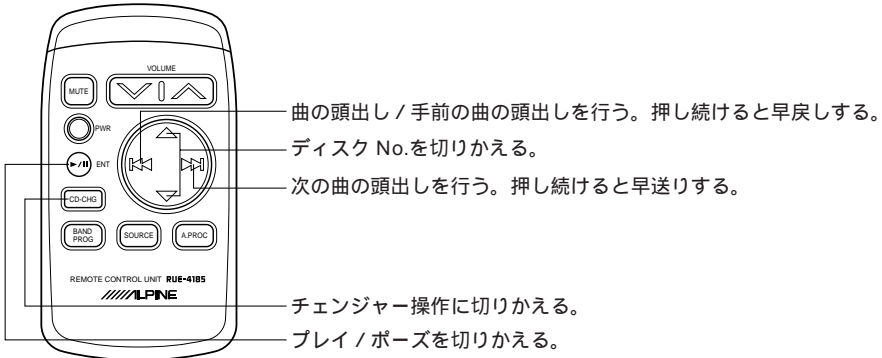
運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。

基本操作



MD/CD/チェンジャー操作

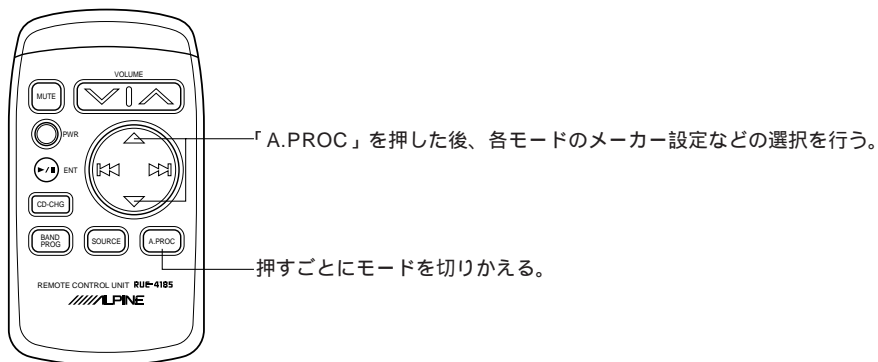


ラジオ操作

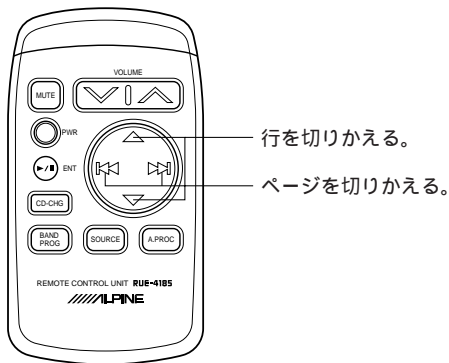


リモコン操作

DSP 操作



FM 多重操作 (MDA-W779JB のみ)



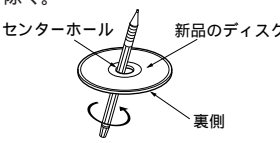
故障かな?と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか?

→ 接続・配線は正しく行われていますか?

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口 (P63) にご相談ください。

症状	原因	処置	
共通部	動作しない。 ディスプレイに何も表示されない。	ヒューズが切れている。 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。	規定容量のヒューズと交換する。(取付説明書) リセット・スイッチをボールペンの先などで押す。(P8)
	電源が入るが音が出ない。	音量レベルが最小になっている。	音量レベルを上げる。(P24)
		MUTE が ON になっている。	MUTE を解除する。(P57)
		フェーダーの設定が適切でない。	2 スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。(P24)
	電源 OFF のとき、時計表示できない。	本機の仕様では、電源 OFF のとき、時計表示はできない。	電源を ON にして、時刻表示モードにする。(P50)
	記憶させた内容が消えてしまった。	リセット・スイッチを押した。 電源コードまたはバッテリーをはずした。	もう一度記憶する。(P9, P20, P21, P33, P36, P47, P50)
	ディスプレイが暗い。	バッテリーコードの接続ミス	接続を確認する。(取付説明書)
		気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。	しばらく待つ。
警告ブザーが鳴る。	ディスプレイが開ききった状態で約 30 秒経過した。	「CD ▲」または「MD ▲」を押してディスプレイを閉める。(P9)	
M/D/C/D部	ディスクが入らない。	すでに別のディスクが入っている。 ディスクの入れかたが間違っている。	ディスクを取り出してから入れ直す。 本書を参照し、正しく入れる。(P10, P12)
	演奏が始まらない。 音がとぶ。 音が歪む。 早送り / 早戻しができない。	車内温度が 50 以上ある。	車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
		ディスクに傷がついている。 ディスクがひどく汚れている。 録音状態が良くない。 音楽用ディスクでない。	他のディスクを再生してみる。
		結露している。	しばらく放置してから使う。
	ピックアップレンズが汚れている。	メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ) (P63)	
	ディスクが勝手にイジェクトする。	ディスクの側面 / センターホールにバリがある。	ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。 
ラジオ部	受信できない。 雑音が入る。	アンテナが接続されていない。 アンテナが伸びていない。 放送局の周波数が合っていない。 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。	アンテナが確実に接続されているか確認する。(取付説明書) アンテナを伸ばす。 周波数を正しく合わせる。(P14) 見通しが良いところに移動する。
	自動的に放送局が選べない。	電波の弱い地域にいる。	ディスタンス・モードまたは手動で受信する。(P14)

その他

故障かな?と思ったら

メッセージが表れたら...

メッセージ	原因	処置	
NO MAGAZINE	マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。	マガジンをCDチェンジャーにセットする。	
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。	
BLANK DISC	ディスクに曲が入っていない。 (未録音ディスク)	ディスクに曲を録音してから使用する。	
High Temp.	車内温度が高すぎる。	車内温度を常温まで下げる。	
NO TEXT	テキストが入力されていない。	CDテキスト対応のCDと交換する。	
NO TITLE	MDにタイトルが入っていない。	タイトルが入力されたMDと交換する。	
Full Data	メモリーがいっぱいのため、タイトル入力できない。	不要なタイトルを消す。	
ERROR	M D / C D ヘ ッ ド ユ ニ ッ ト	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 音楽用ディスクでない。 結露している。	「CD ▲」または「MD ▲」を押して、ディスクを交換する。
		メカニズムエラー。	しばらく放置する。
			①「CD ▲」または「MD ▲」を押して、ディスクを取り出す。 イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。 ②ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「CD ▲」または「MD ▲」を押す。 ③何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。
	チ ェ ン ジ ャ ー	ディスクがマガジンに戻っていない。	①「▲」を押す。 ②空の(ディスクが入っていない)マガジンを入れ、もう一度「▲」を押しディスクを回収する。
		メカニズムエラー。	①「▲」を押す。 ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③それでも復旧しない...修理ご相談窓口へ。

< チューナー部 >

受信周波数	AM;522 ~ 1,629kHz, FM;76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM;22.5 μ V, FM;0.8 μ V (75) :9.3dBf (新IHF)
ステレオ・セパレーション	FM;35dB以上
SN比	FM;65dB以上
周波数特性	FM;30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比	FM;80dB以上
IF妨害比	FM;80dB以上

< MD部 >

周波数特性	20Hz ~ 20kHz (\pm 0.5dB)
ダイナミック・レンジ	90dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

< CD部 >

方式	光学式 (コンパクト・ディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz ~ 20kHz (\pm 1dB)
ダイナミック・レンジ	93dB (1kHz) 以上
SN比	105dB (1kHz) 以上
チャンネル・セパレーション	86dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下

< イコライザー部 >

バンド数	7
イコライザー周波数	63Hz/160Hz/400Hz/1kHz/2.5kHz/ 6.3kHz/16kHz (各 \pm 10dB)

< リモコン部 >

使用電源	DC1.5V \times 2 (UM-4)
外形寸法	56 (幅) \times 14 (高さ) \times 105 (奥行) mm
重量	50g (電池は含まれない)

規格 保証について

< 一般 >

使用電源DC14.4V (動作範囲; 11 ~ 16V)
アース方式⊖ アース
最大出力44W x 4
出力レベル500mV/10k
外形寸法178 (幅) x 100 (高さ) x 155 (奥行) mm
重量2.5 kg

この製品はドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

< 付属品 >

品 名	数 量
取り付け用部品類	1 式
電源コード	1
リモコン	1
電池 (単 4)	2
取扱説明書・保証書類	1 式

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることを、ご確認ください。
保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いときまず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪いとき ...保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
お買上げ店、または 63 ページの「お問い合わせ窓口」
にあるお近くの修理ご相談窓口にて、修理を依頼してください。

保証期間中の修理保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、
保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有
料で修理させていただきます。

補修用性能部品製造打切り後、最低 6 年間保有しています。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店、または 63
ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げになった販売店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。

修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。

ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

インフォメーションセンター	・ FAX : 03-3494-1767 TEL : 03-3779-0711 ・ 電話受付時間 平日 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
---------------	---

営業所・販売名	電話番号	住 所
北関東営業所	028-636-2931	〒 321-0853 栃木県宇都宮市東宿郷 4 丁目 2 番 20 号 K.Dビル
東京営業所	045-541-7261	〒 223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地
千葉営業所	043-271-5950	〒 262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷 6 丁目 26 番地 須蔵ビル 3F
中部営業所	052-779-5655	〒 465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石 3 丁目 108 番地
静岡営業所	054-283-0171	〒 422-8032 静岡県静岡市有東 3 丁目 9 番 1 号 2F
関西営業所	06-6386-4136	〒 564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号
アルバイン北海道 (株)	011-621-4485	〒 064-0821 北海道札幌市中央区北 1 条西 22 丁目 2 番 1 号 上野ビル
アルバイン東北 (株)		
仙台営業所	022-239-5331	〒 983-0043 宮城県仙台市宮城野区秋野町 3 丁目 9 番 5 号
盛岡営業所	0196-47-0115	〒 020-0133 岩手県盛岡市青山 2 丁目 23 番 7 号
秋田営業所	0189-65-4221	〒 010-0853 秋田県秋田市山王中園町 5-11
郡山営業所	0249-25-3811	〒 963-8051 福島県郡山市喜久山八山田字土布池 11 番 5 号
山形出張所	0236-45-5321	〒 990-0825 山形県山形市城北町 2 丁目 10 番 8 号 笹川ビル 1F
アルバイン中四国 (株)		
岡山営業所	086-243-8257	〒 700-0975 岡山県岡山市今 4 丁目 5 番 2 号
広島営業所	082-846-1175	〒 731-0138 広島県広島市安佐南区祇園 2-11-16
山口出張所	0839-72-6848	〒 754-0002 山口県吉敷郡小郡町大字下郷 2216 番地の 1
高松営業所	087-834-0426	〒 760-0079 香川県高松市松縄町 34 番地の 2
愛媛出張所	089-958-4707	〒 791-1104 愛媛県松山市北土居町 443-1 エクセル 12 1-B

営業所・販売名	電話番号	住 所
アルバイン九州 (株)		
営業 1 課 (北九州)	092-513-1071	〒 816-0081 福岡県福岡市博多区并相田 1 丁目 12 番 22 号
営業 2 課 (中九州)	092-513-1072	〒 816-0081 福岡県福岡市博多区并相田 1 丁目 12 番 22 号
長崎 office	0957-27-1581	〒 854-0074 長崎県諫早市山川町 3-13
鹿児島営業所	099-253-7215	〒 890-0034 鹿児島県鹿児島市田上 6 丁目 27 番 15 号
アルバイン (関信) (株)		
長野営業所	0262-28-7970	〒 380-0921 長野県長野市大字栗田 314 番地の 3
松本営業所	0263-48-4772	〒 390-0852 長野県松本市島立 830-11 深澤ビル 102 号
高崎営業所	0273-61-5813	〒 370-0073 群馬県高崎市緑町 3 丁目 16-6
アルバイン (近畿販売) (株)		
阪和営業所	0722-58-8111	〒 591-8023 大阪府堺市中西百鳥町 4 丁目 57 番地 サンライズ中西百鳥 103 号
滋賀営業所	0775-66-1140	〒 525-0036 滋賀県草津市草津町 1660 番地
アルバイン (新潟販売) (株)	025-270-7021	〒 950-0862 新潟県新潟市竹尾 764 番地 6 号
アルバイン (埼玉販売) (株)	049-664-7701	〒 331-0852 埼玉県大宮市桜木町 3 丁目 179 番地
東京アルバイン (販売) (株)	03-3253-2635	〒 101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1 丁 13
アルバイン (北陸販売) (株)	0762-40-8111	〒 912-8066 石川県金沢市大木 3 丁目 72 番 1 号
アルバイン (三重販売) (株)	0593-80-0220	〒 510-0235 三重県鈴鹿市南江島 7-14
アルバイン (京都販売) (株)	075-351-6406	〒 600-8480 京都府京都市下京区五条通 堀川東人小泉町 113 番地の 1
アルバイン (兵庫販売) (株)	078-681-9711	〒 652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通 5 の 6
アルバイン (高知販売) (株)	0888-84-6800	〒 780-8122 高知県高知市高須新町 3 丁目 10 番 8 号
(株) パルス	0988-66-1916	〒 900-0003 沖縄県那覇市安謝 217 番地 3

修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道	アルバインカスタマーズサービス(株)札幌	011-642-1688	〒 064-0821 北海道札幌市中央区北 1 条西 22 丁目 2 番 1 号
青森			
岩手			
秋田			
山形			
宮城			
福島			
栃木			
茨城			
群馬			
東京			
神奈川			
埼玉			
千葉			
新潟			
長野			
山梨			
静岡			
愛知	アルバインカスタマーズサービス(株)中部	052-760-0850	〒 465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石 3 丁目 108 番地
三重			
岐阜			
福井			
富山	アルバインカスタマーズサービス(株)関西	06-6386-4130	〒 564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号
石川			

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
滋賀			
京都			
大阪	アルバインカスタマーズサービス(株)関西	06-6386-4130	〒 564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号
和歌山			
奈良			
兵庫			
岡山			
鳥取			
島根			
広島	アルバインカスタマーズサービス(株)岡山	086-244-8163	〒 700-0975 岡山県岡山市今 4 丁目 5 番 2 号
山口			
香川			
愛媛			
徳島			
高知			
福岡			
佐賀			
大分			
熊本			
長崎	アルバインカスタマーズサービス(株)福岡	092-513-1081	〒 816-0081 福岡県福岡市博多区并相田 1 丁目 12 番 22 号
鹿児島			
沖縄			

修理ご相談窓口

名称	電話番号	住所
北海道		
西島家電商事札幌店	011-762-0458	〒001-0925 札幌市北区新川5条2丁目3-18
北欧電子(株)	011-681-2414	〒063-0033 札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
輪島電装(株)	0138-48-8181	〒041-0824 函館市西栲町168番地2号
千代田電装工業(株)	0166-22-9451	〒070-0034 旭川市四条2丁目2号B-9-10
(有)北網通信特機	0157-81-3843	〒090-0058 旭川市高宗西6丁目4番4号
青森県		
(有)大瀧電機	0178-45-5300	〒031-0071 八戸市沼館1-19-5
三富電装	0178-29-4410	〒039-1163 八戸市高州2丁目23-16
岩手県		
(有)文通電機商事	0196-87-1561	〒020-0172 岩手郡滝沢村鏡鏡字上高柳64
秋田県		
質電装	0188-68-2761	〒010-0802 秋田市外旭川字鳥島塚212-2
山形県		
カーサウンドサイト	0236-24-8953	〒990-2321 山形市松田西3丁目4-7
(有)山王電子サービス	0234-22-1832	〒998-0841 酒田市松原町21-4
宮城県		
(株)日本電機サービス(仙台)	022-254-4531	〒983-0005 仙台市宮城野区稲宮字産宮35
サービスサウンド	022-728-7117	〒981-0941 仙台市青葉区福室町6-13
(合)宏々電化商会	022-362-4332	〒985-0045 仙台市西玉川11-20
大浜電機	0225-22-4996	〒986-0833 石巻市玉川1-4-1-10
フジ電機	0228-23-8266	〒989-6143 古川市中央1丁目12番5号
福島県		
(有)東南電機	0245-45-5161	〒960-8153 福島市泉岩堂の巻51-1
芳広通信特機サービス	0249-43-5876	〒963-0101 郡山市安積町日出山1丁目95-3
エーエー電機システムズ	0249-52-8417	〒963-0035 郡山市希望ヶ丘10-20
(株)オートソノマルマヤ(郡山店)	024-945-3388	〒963-0111 郡山市安積町荒井字方丁5-2
(会)津波電機 (会津支店)	0242-24-1717	〒965-0006 会津若松市北町大字藤室字横道63-1
(白河店)	0248-23-2555	〒961-0076 白河市水番町1原50番地1
茨城県		
(株)日本電機サービス(茨城)	0292-47-3231	〒310-0844 水戸市住吉町64
(株)日本電装サービス茨城	0292-43-0516	〒310-0851 水戸市千波町2345-13
栃木県		
(株)日本電機サービス(栃木)	028-648-6291	〒320-0851 宇都宮市鶴田町1362-2
サウンドサービス	028-653-8623	〒321-0131 宇都宮市宮内町1173-38
群馬県		
(株)日本電機サービス(北関東)	0276-46-5885	〒373-0818 太田市小箕木町377
グリーンエックスサービス	0273-82-5024	〒379-0132 安中市高別当708-1
長野県		
恵田電子サービス	0263-53-6723	〒399-0705 塩尻市広丘2146-339
オーディオサービスヨシムラ	026-226-4199	〒380-0921 長野市栗田653-4 アズマビル2F
新潟県		
(有)ムツミ電装	025-285-1919	〒950-0964 新潟市川原2-43-6
(株)火山電機	0258-27-0009	〒940-2112 長岡市大島町5-118-10
(有)トミザワテクノ	025-270-7021	〒950-0862 新潟市万葉764番地6号
東京都		
アース電機(株)	03-3758-7821	〒146-0095 大田区多摩川2-19-17
アラビ電機産業(株)	03-3925-1602	〒179-0075 練馬区高松6-33-14
(株)日本電機サービス(東京)	03-3395-3681	〒167-0042 杉並区西荻4-1-9-20
(株)チャージャーサービス	03-3671-7001	〒133-0051 江川区北小岩1-11-7
三共無線(有)沼田営業所	03-3719-3526	〒153-0042 目黒区青葉台1-27-15
(有)アークニカルサービス	03-3558-7008	〒115-0051 北区浮間2-4-10
(株)日本電機サービス(本社)	0425-58-7773	〒197-0803 おきる町神戸町255
叶電機	0425-51-6350	〒197-0111 福生市福生2241番地 P108号
ALサウンドライズ	0425-87-4854	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井2040
神奈川県		
(株)日本電機サービス(神奈川)	045-953-2510	〒241-0031 横浜市西区今宿西町255
関東電子サービス(株)	045-504-9091	〒226-0023 横浜市緑区小川町292-7
(株)エルゴエレクトロ	045-242-0029	〒220-0022 横浜市西区花見町4丁目116番地
埼玉県		
アル(埼玉)埼玉電機(株)	048-684-7071	〒331-0852 大宮市桜木町3-179
(株)日本電機サービス(埼玉)	048-651-2327	〒331-0043 大宮市大成町4-36-1
千葉県		
(株)日本電機サービス(千葉)	043-232-5132	〒264-0002 千葉市若葉区桜木町471-8
静岡県		
(株)日本電機サービス(静岡)	054-247-2522	〒420-0804 静岡市南南1-16-1
(株)加藤自動車音響商会	053-461-6781	〒435-0043 浜松市笠岡町149-1
(株)和電子サービス(株)	053-448-8551	〒432-8061 浜松市入野町9156

(般)

名称	電話番号	住所
愛知県		
(株)日本電機サービス(名古屋)	052-702-1071	〒465-0067 名古屋市長区瑞穂高字大字メクノ10-1
(株)センターコバヤシ	052-881-3400	〒466-0059 名古屋市中区江津3丁目1-40
名陽電機(株)	052-761-5306	〒466-0853 名古屋市中区江津原通り1-2
名陽電機商会	052-241-9797	〒460-0007 名古屋市中区新栄3-11-24
遠辺電機商会	052-914-3321	〒462-0023 名古屋市中区安井1-11-1
牧サ-ビス電機	052-793-6944	〒463-0001 名古屋市守山山崎町394-1
(有)加田電機	052-611-5111	〒451-0051 名古屋市西区則武新町2丁目25番地6号
サカエ電機	052-405-7887	〒468-0043 名古屋市天白区置田2丁目01
(有)輝井計器	0562-46-5223	〒474-0061 大府市共和町(ちょう)B-262-1
フジサウンド(株)	0587-55-8511	〒483-8222 江南市志摩字朝霧町4
三重県		
FIX	0593-80-3134	〒510-0244 鈴鹿市白子町字北新田1896-1
(有)心電機	0593-82-1287	〒513-0816 鈴鹿市南玉垣1543-1
広音響サービス	0596-23-4531	〒516-0071 伊勢市(木太)町588
富山県		
ナカノ商会	0766-54-1585	〒938-0413 敦賀市大門町南1288
石川県		
辰口電機	0761-51-2498	〒923-1201 能登県辰口町辰口75-2
福井県		
(株)パーメンテサービス	0776-35-8182	〒918-8015 福井市花室南1丁目5-4
滋賀県		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	〒529-1541 瀬田郡瀬田町瀬田生338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	〒610-1153 京都市西京区大原野南春日388
電装整備(株)	075-821-5843	〒602-8365 上京区丸太町(駅前通)上ル
ヤハタ電気	075-605-1903	〒612-9474 京都市東山区下鳥羽町田45-1 トロスIF
大阪府		
(株)日本電機サービス(関西)	06-6827-0601	〒533-0001 大阪市東淀川区井筒4丁目6-27
サンユーオーディオ	06-6768-6597	〒543-0011 大阪市天王寺区水谷町3-15 15カッビルF
タツシ電機商会	06-6573-3605	〒552-0007 大阪市港区共栄3-1-4
フジオーディオサービス	0722-23-8686	〒590-0074 堺市北花田町1-2-27
和歌山県		
ミナト電機商会	0734-23-6811	〒640-8251 和歌山市南中町48
奈良県		
エルバック(株)	0742-22-1201	〒630-8325 奈良市西木太1軒町20番62
兵庫県		
ニシオサービス	078-652-1099	〒652-0873 神戸市兵庫区金平1丁目32-9
兵庫電子サービス	078-652-3646	〒652-0834 神戸市兵庫区本町1丁目1-8 浅沼マンションF
(有)アイー神戸サービスセンター	078-6111-6559	〒657-0036 神戸市東区桜川5-2-20 第六Fセンタービル
(株)知通電子	078-302-4615	〒650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目2-1
太子電器	0792-77-3703	〒671-1523 播磨郡赤松町東南字小川647-3
岡山県		
中田電器	086-263-9146	〒702-8058 岡山市並木町2丁目8-17
大熊電機	086-422-6460	〒719-1173 郡陽郡吉野町田14
広島県		
(有)北洋電子	082-291-6537	〒733-0012 広島市西区中丁町2丁目3番12号
(有)神栄サービス	0849-31-3761	〒721-0966 福山市手塚町1丁目2-31
香川県		
(株)拓海電機サービス	087-843-1040	〒761-0102 高松市新田町字北谷北470-11
愛媛県		
(有)増田電機サービス	0899-57-3174	〒791-1112 松山市南高井1982-3
徳島県		
みの電子パーツ	0886-53-2812	〒770-0801 徳島市上町(新町)大坪182-4
高知県		
ナカムラ	0888-32-4548	〒780-8027 高知市高見町303番地1
(株)ソキケン	0888-83-5101	〒780-0066 高知市北3-10-39
福岡県		
(株)日本電機サービス(福岡)	092-441-7858	〒816-0092 福岡市博多区東区南2丁目14-26-1
池間電機	093-571-3355	〒803-0841 北九州市小倉北区清水1丁目20-9
中元電器	0948-22-4630	〒820-0011 飯塚市大塚町森13-67
久米音響サービス	0942-21-2371	〒830-0052 久米市上津町165-2
佐賀県		
佐賀電子カルサービス	0952-33-5343	〒849-0932 佐賀市鍋島町大字八戸町1252-13
大分県		
福田電機サービス	0975-67-1967	〒870-0927 大分市下郡11組の7
熊本県		
大和電機	096-372-1403	〒860-0811 熊本県本荘2-3-22
長崎県		
島原無線	0957-64-0821	〒855-0801 島原市島高2-7208
(有)野中電機	0956-38-6494	〒859-3241 佐世保市有福町578-1
沖縄県		
(株)Jリス	0988-66-1916	〒900-0003 那覇市安積271番地3

Q スイッチを押すときの操作音は、消すことができないの？

A 操作音の切りかえで「Sound Guide OFF」に設定すると操作音を消すことができます。
操作音の切りかえについては 49 ページを参照してください。

Q DHE はどのモードのときに使うの？

A DHE はどのモードでも使用できます。とくに、MD 再生時の DHE が効果的です。
光輝くライブな音楽空間をお楽しみください。

Q ミュート（音量を瞬時に下げる）機能はないの？

A 本体からは操作できませんが、付属のリモコン（RUE-4185）からミュートの操作が行えます。詳しくは 57 ページを参照してください。

Q 「下」「浅」「大」などの漢字を入力するにはどうすればよいの？
（MDA-W779JB のみ）

A 漢字は「音読み」で探してください。
「下」は「か」、「浅」は「せ」、「大」は「た」の行から探します。本機は JIS 第一水準の漢字（2,965 字）を入力することができます。JIS 第一水準に対応していない「々」などは入力できません。漢字入力については 36 ページを参照してください。

Q ラジオ以外でもパワーアンテナが上がるのはどうして？

A FM 多重文字情報を表示させながら CD や MD を聴いていませんか？（FM 多重は MDA-W779JB のみ）
ラジオ以外でも FM 多重が ON の状態であれば、パワーアンテナは上がったままです。
FM 多重を OFF にするには、「FM MULTI」を 2 秒以上押してください。

Q FM 多重が受信できないのはどうして？（MDA-W779JB のみ）

A FM 多重放送局の受信感度が良くないと受信されない場合があります。FM 放送をステレオで受信でき、さらにノイズ（雑音）が少ない状態でなければ受信できません。そのため、放送は聴けるのに文字情報が受信できないこともあります。受信感度の良い所に移動してみてください。

Q FM 多重でスクロールの設定を「AUTO」にしているのに次ページにスクロールしないのはどうして？（MDA-W779JB のみ）

A ニュースや天気予報などの独立情報番組でスクロールするのは、1 ページ（3 行）の情報です。次ページの情報をスクロールさせるには、ページの切りかえが必要です。ページの切りかえについては 44 ページを参照してください。

Q MD タイトルは何文字まで表示できるの？

A 本機内蔵の MD では、「漢字／ひらがな」で 32 文字、「カタカナ／英数字」で 64 文字まで表示が可能です。（「漢字」／「ひらがな」は MDA-W779JB のみ）

Q ナビゲーションの案内音声を本機側に割り込ませるにはどうするの？

A ナビゲーションの案内音声を割り込ませるには、「ナビゲーション＋カラーモニタ（TVE-T038）」と「Ai 割り込み BOX（NVE-K200）」が必要です。更に割り込み設定は「TVE-T038 側」を「NAV.ON」、「本機側」を「MUTE OFF」（53 ページ参照）に設定する必要があります。

Q 時計表示の時刻が違っているのは、どうして？

A 取付けたときやバッテリーを外したとき、またはリセットしたときなどは時刻の設定が必要です。時刻の設定については、50 ページを参照してください。

Q ボタンのイルミネーションが点灯しないのはどうして？

A ボタンのイルミネーションが点灯するのは、本機の電源が ON のときです。

料 金 受 取 人 払

大崎局承認

8529

差出有効期限
平成13年9月30日
(切手不要)

1 4 1 - 8 7 9 0

101

東京都品川区西五反田1丁目1番地8号

アルパイン株式会社

CS推進部 ご愛用者カード係

行



モデル名: MDA-W779JB MDA-W700JB MDA-W700J	いずれかに を 付けて下さい	製造番号: 保証書をご覧ください。
(フリガ) _____ ご住所 〒 _____ 都道 府県		
(フリガ) _____ ご氏名	TEL : - -	携帯 : - -
E-mail : _____		
生年月日: (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日生 _____ 歳 (男・女) (未婚・既婚)		
ご職業: 1. 学生 2. 事務系勤め人 3. 営業系勤め人 4. 技術系勤め人 5. 作業・労務系勤め人 6. 会社役員・経営者 7. 自営業 8. 自由業 9. 専業主婦 10. パート・アルバイト 11. その他()		
ご購入店名: _____ ご購入年月: _____ 年 _____ 月		
Q1 当商品を装着した車についてお聞かせください。 メーカー () 車種名 () 排気量 (cc) 年式 (S・H 年 月) 購入年月 (S・H 年 月) 購入時 (1. 新車 2. 中古車) ボディタイプ (1. セダン 2. ハードトップ 3. クーペ 4. ハッチバック 5. ステーションワゴン 6. ミニバン/ワンボックス 7. オフロード4WD 8. その他 ())		
Q2 お持ちのオーディオソフトについてお聞かせください。 _____ カセットテープ (本) 12cm CD (枚) 8cm CD (枚) 再生専用MD (枚) 録音用 MD (枚)		
Q3 車の中でよくお使いになるソースをお答えください。 (はいくつでも) 1. CD 2. MD 3. カセット 4. ラジオ 5. NAVI 6. TV 7. DVDビデオ 8. VHSビデオ 9. その他 ()		
Q4 あなたのご趣味をお聞かせください。 () () ()		
Q5 よくお読みになる雑誌名をお答えください。 () () ()		
Q6 アルパイン商品のお買い求めは、何回目ですか? 1. 初めて 2. 2回目以上 (2. 2回目以上とお答え頂いた方へ) 以前ご購入頂いた商品は? (1. オーディオ 2. カーナビゲーション 3. その他)		

(裏面へ続く)

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

FAX: 03-3494-1767 TEL: 03-3779-0711

電話受付時間 平日 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

電話は混雑が予想されます。FAX かハガキをおすすめします。

アルパインホームページ: <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan (S)

68P30540Y13-A